

---

# 2010年3月期決算説明会

新日本製鐵株式會社  
2010年4月28日

# 本日の内容

---

1. 2010年3月期決算実績
2. 剰余金の配当について
3. 2011年3月期見通しについて

執行役員 太田 克彦

---

## 1. 2010年3月期決算実績

# 2010年3月期連結決算実績概況

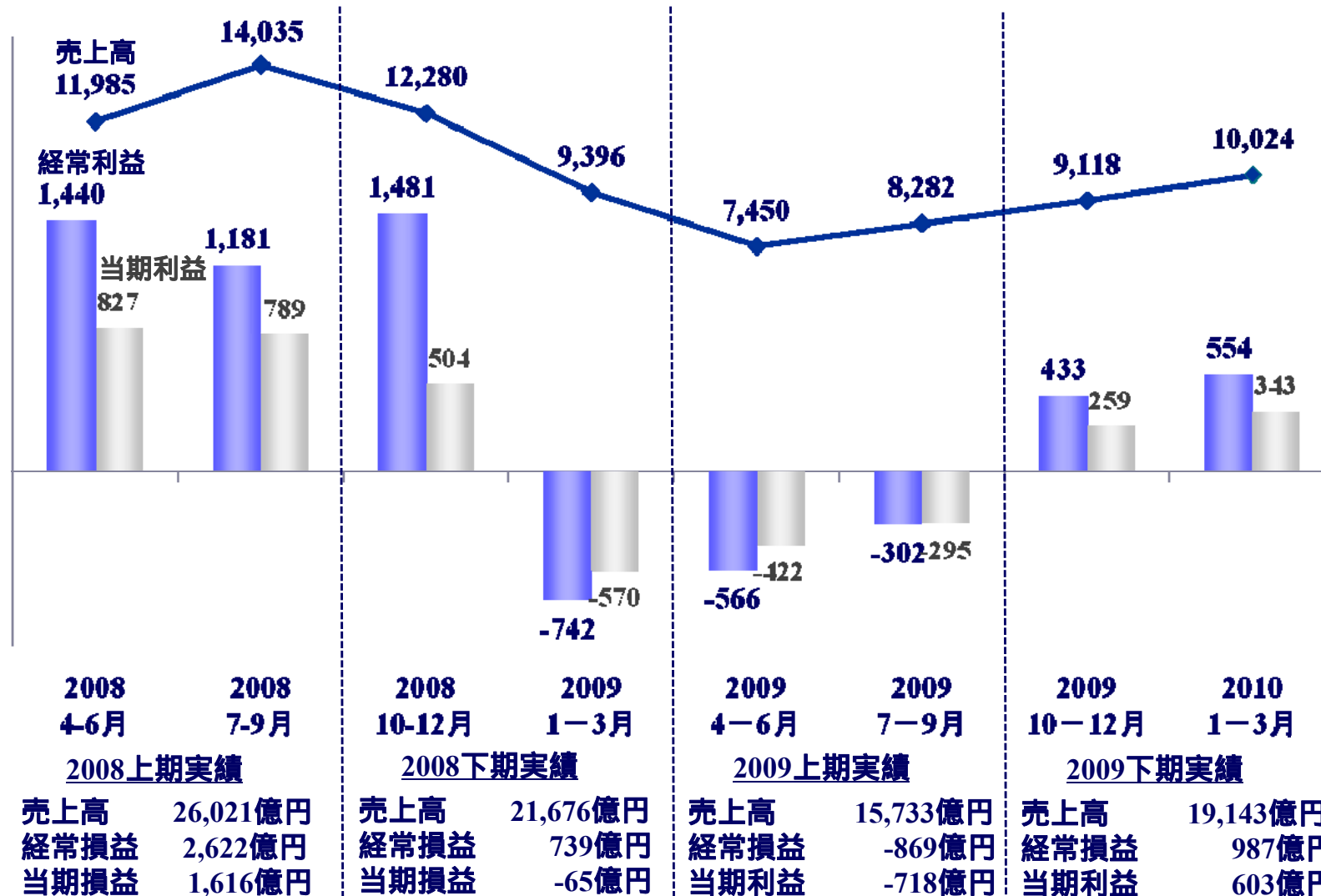
(億円)

## 2008年度実績

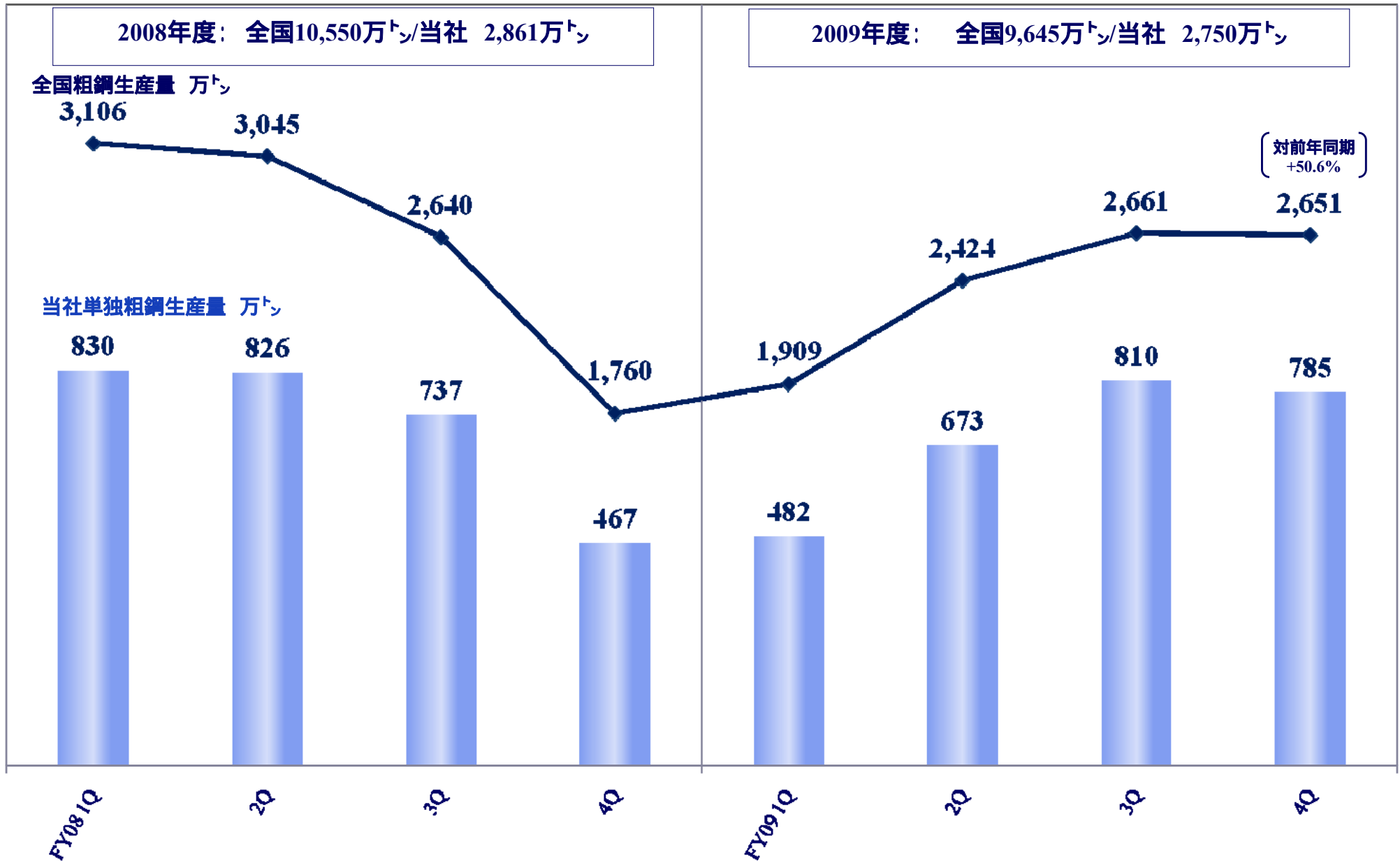
売上高 47,698億円  
 経常損益 3,361億円 当期損益 1,550億円

## 2009年度実績

売上高 34,877億円  
 経常損益 118億円 当期損益 -115億円

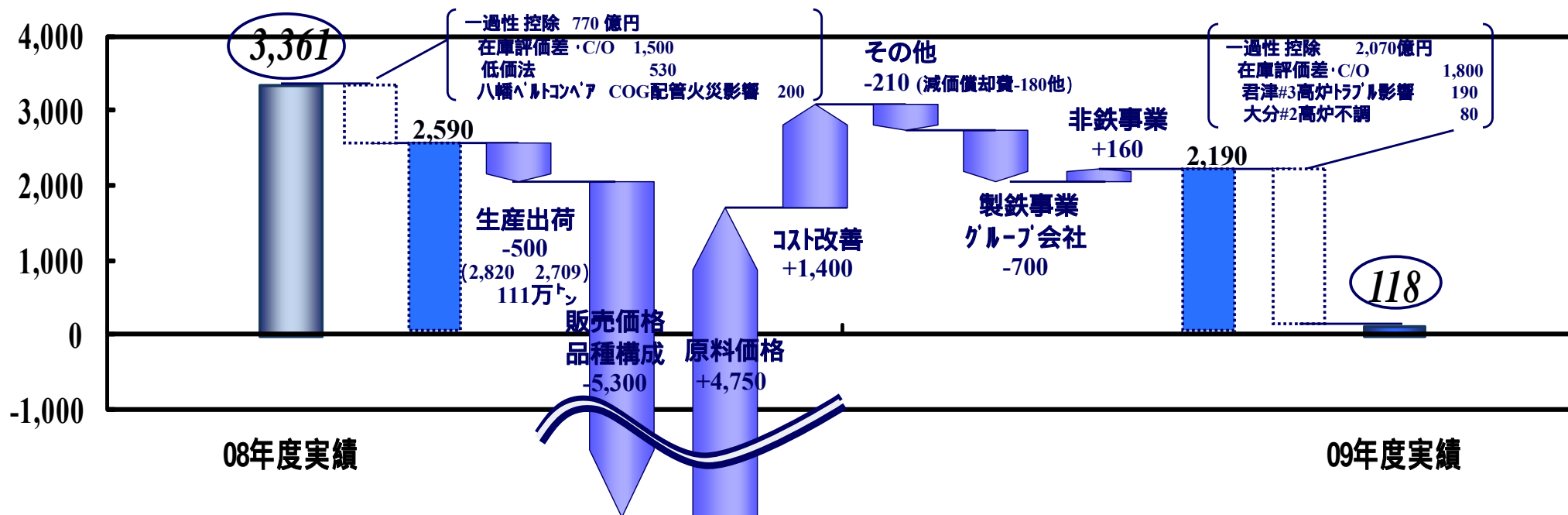


# 全国・当社粗鋼生産量 四半期別推移 (2008～2009年度)



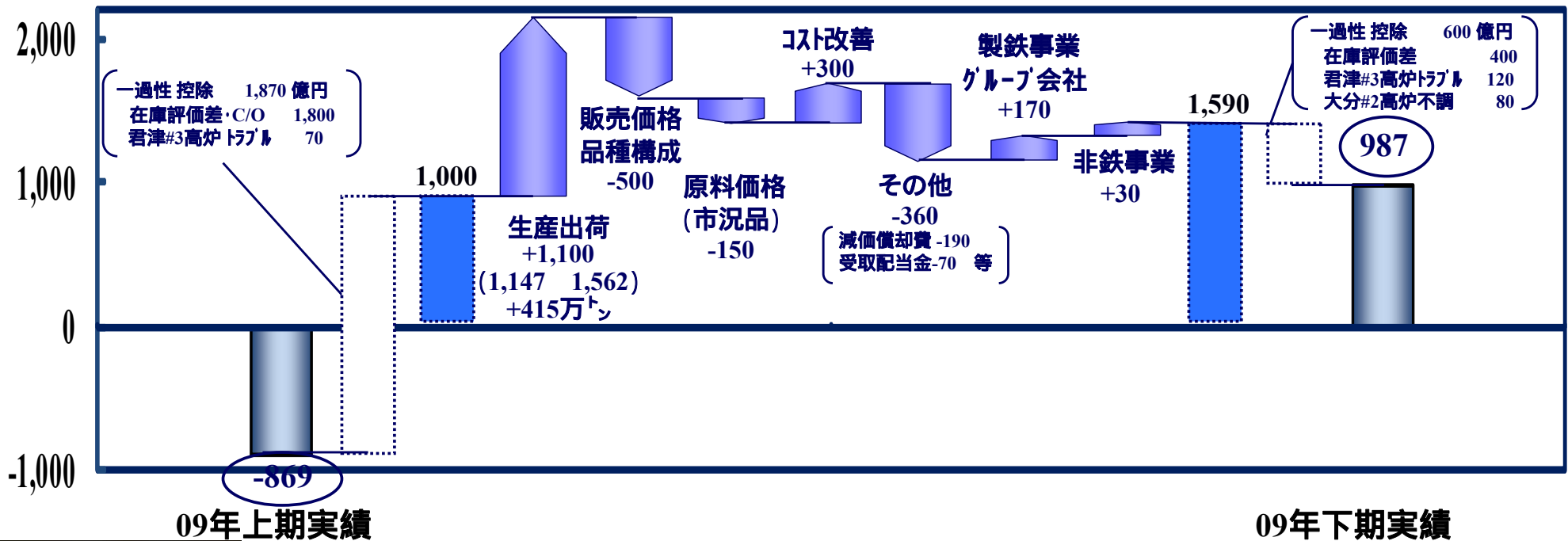
# 2010年3月期連結決算実績分析(前年度実績比・前回見通し比)

(億円)	09年度 実績	08年度 実績	増減 08年 09年	前回見通し	対前回見通し	対前回見通し +18億円
売上高	34,877	47,698	-12,821	35,000	-123	
営業損益	320	3,429	-3,109	300	+20	製鉄:-10億円 ・大分#2高炉不調 -80 ・海外需要 +30 ・グループ会社 +40
経常損益	118	3,361	-3,243	100	+18	非鉄:+30億円 ・エンジニアリング +30 ・システムソリューション +10 ・連結消去 -10
うち単独経常損益	-949	2,036	-2,985			
当期損益 <一株当たり 当期利益>	-115 <-1.8>	1,550 <24.6>	-1,665 <-26.4>	-150 <-2.4>	+35 <+0.6>	



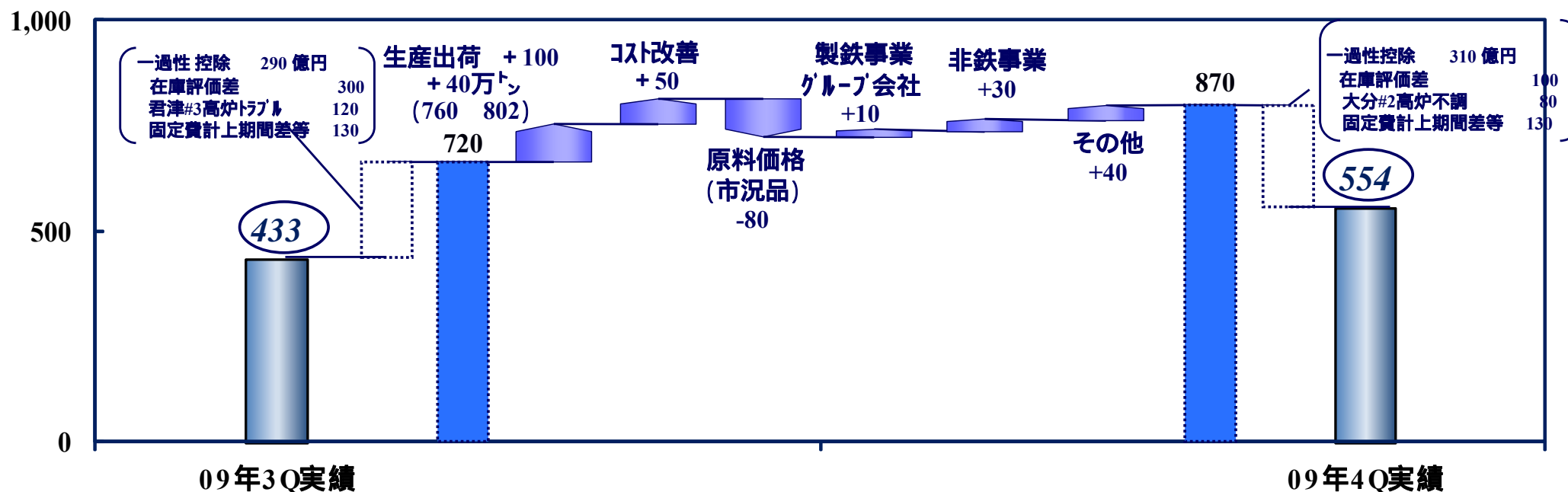
# 2010年3月期連結年度決算実績分析(上期実績対下期実績)

(億円)	下期実績	上期実績	増減
売上高	19,143	15,733	+3,410
営業損益	1,034	-714	+1,748
経常損益	987	-869	+1,856
ウチ単独経常利益	350	-1,299	+1,649
当期損益 <一株当たり当期利益>	603 <9.6>	-718 <-11.4>	+1,321 <21.0>



# 2010年3月期連結年度決算実績分析(3Q実績対4Q実績)

(億円)	4Q実績	3Q実績	増減
売上高	10,024	9,118	+906
営業損益	636	397	+239
経常損益	554	433	+121
ウチ単独経常利益	218	131	+87
当期損益	343	259	+84
<一株当たり当期利益>	<5.5>	<4.1>	<+1.4>





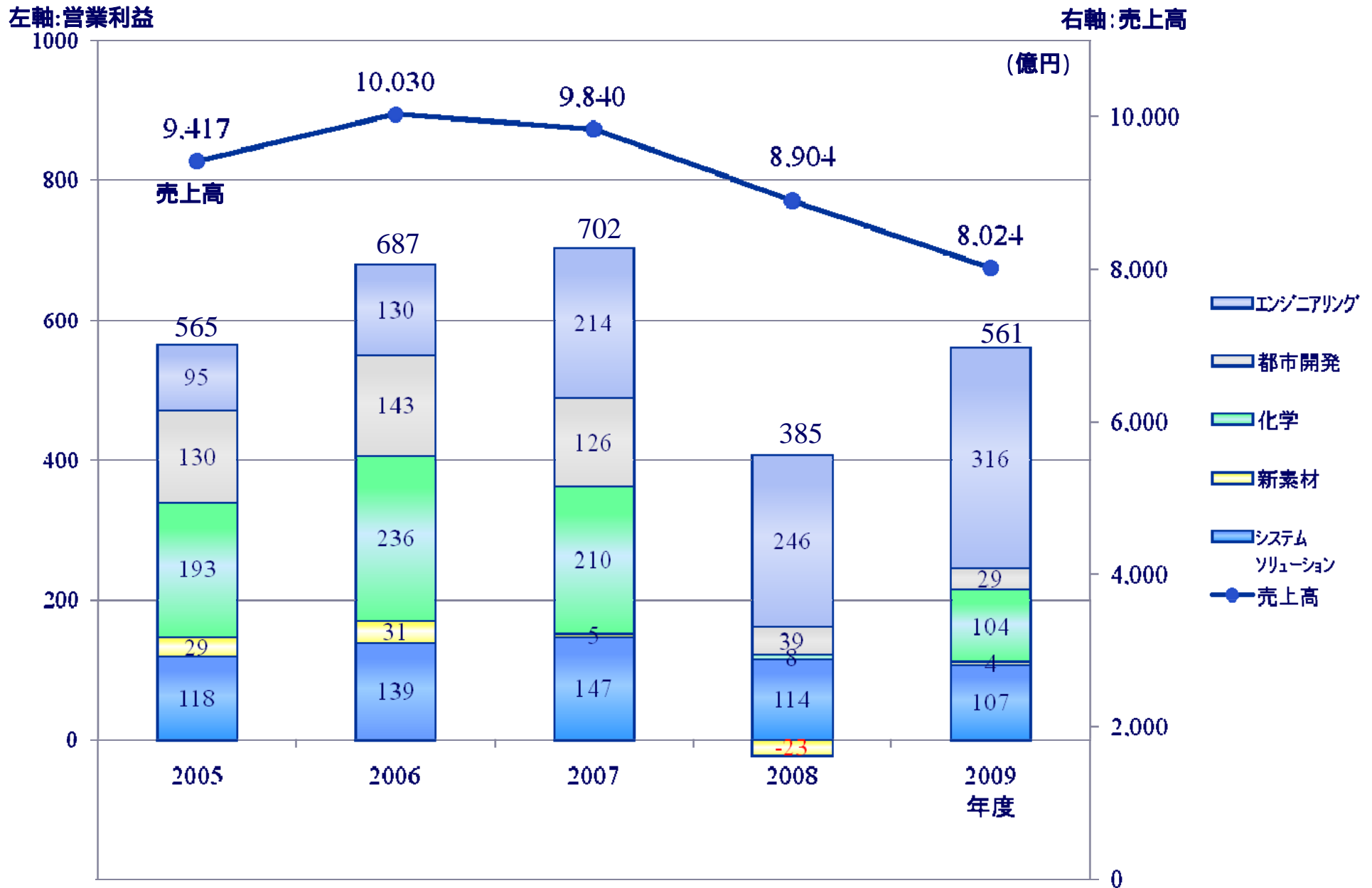
# 2010年3月期 連結セグメント別損益実績

(億円)	売上高			営業損益		
	年度	上期	下期	年度	上期	下期
連 結 計	34,877	15,733	19,143	320	-714	1,034
製 鉄 事 業	28,231	12,595	15,636	-205	-932	726
非 鉄 事 業	8,024	3,842	4,182	561	239	322
<非鉄事業内訳>						
エンジニアリング	3,319	1,548	1,771	316	119	197
都市開発	800	438	362	29	29	-0
化学	1,794	865	928	104	53	51
新 素 材	587	291	296	4	-2	7
システムソリューション	1,522	698	823	107	40	66

# 製鉄以外5事業セグメントの概況

		09年度 実績	対前年度	08年度 実績	概況
(億円)					
エンジニアリング	売上高	3,319	-547	3,866	既受注案件の順調な工事進捗に加え、徹底したコスト削減の実行により、対前年度減収ながら増益。 受注面では、依然厳しい事業環境下にあるものの、受注回復に向けて、積極的な受注活動を継続。
	営業利益	316	+70	246	
都市開発	売上高	800	+99	701	大規模再開発事業の竣工に伴い対前年度増収となるものの、厳しい不動産事業環境が続く中で、販売価格下落等により減益。
	営業利益	29	-10	39	
化学	売上高	1,794	-327	2,121	需要減、製品市況下落の影響により、特に上期を中心に減収となったものの、化学品マージンの回復や機能材料、コールドケミカル事業の復調により対前年度大幅増益。
	営業利益	104	+96	8	
新素材	売上高	587	-12	599	電子部材需要の回復等により、売上高は対前年度ほぼ横這い水準。各事業毎に生産性向上やコスト改善等の諸施策に全力を傾注した結果、赤字を脱却し黒字化。
	営業利益	4	+27	-23	
システムソリューション	売上高	1,522	-93	1,615	システム投資の抑制傾向が続く中、ベンダー間の競争激化もあり、コスト削減等の収益改善策に注力するものの、対前年度減収減益。
	営業利益	107	-7	114	
非鉄計	売上高	8,024	-880	8,904	
	営業利益	561	+176	385	

# 製鉄以外5事業売上高・営業利益推移



# 主要上場グループ会社等損益実績 < 2010年4月28日時点 >

会社名	決算発表日 (前回見直し公表日)	(億円)	08年度 実績	09年度 実績 (前回公表値)	
<b>製鉄事業</b>					
大阪製鐵	連	2010/4/28	売上高	1,265	637
[上場] 5449	62%		経常利益	208	76
			当期利益	120	42
鈴木金属工業	連	2010/4/28	売上高	366	349
[上場] 5657	66%		経常利益	0	5
			当期利益	-1	-0
新日鐵住金ステンレス	連	2010/4/28	売上高	3,036	1,977
[非上場]	80%		経常利益	-343	19
			当期利益	-214	10
日鐵商事	持	2010/4/27	売上高	13,208	9,196
[上場] 9810	34%		経常利益	130	78
			当期利益	74	52
太平工業	持	2010/5/11 (予定)	売上高	1,629	(1,650)
[上場] 1819	37%		経常利益	136	(135)
			当期利益	77	(75)
黒崎播磨	持	2010/5/13 (予定)	売上高	963	(816)
[上場] 5352	46%		経常利益	31	(24)
			当期利益	-28	(37)
<b>非鉄事業</b>					
新日鐵化学	連	2010/4/28	売上高	2,118	1,793
[非上場]	100%		経常利益	-6	91
			当期利益	-176	62
新日鐵ソリューションズ	連	2010/4/28	売上高	1,615	1,522
[上場] 2327	67%		経常利益	119	112
			当期利益	63	63

各社連結ベースの数値

( ) は前回公表見直し値

2010年度末

当社連結対象会社数 : 328社

連結子会社 : 255社  
持分法適用関連会社 : 73社

< 主な変動 >

2009年6月

鈴木金属・Garphyttan社(スウェーデン)の  
当社連結子会社化  
(持分比率35.9% 66.4%)

2009年12月

LATINUSA社(インドネシア)の  
連結子会社化(当社出資比率35%)

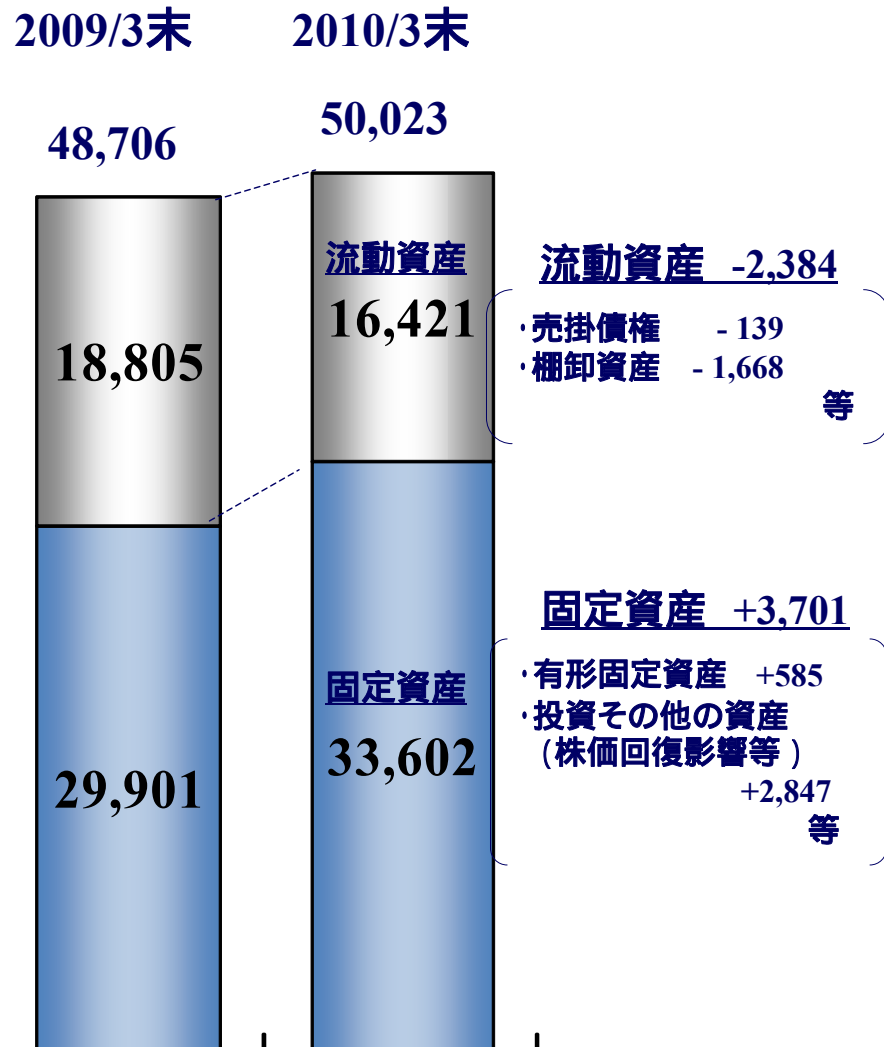
(2/9公表)

(2/10公表)

# 連結貸借対照表(2009/03末→2010/03末)

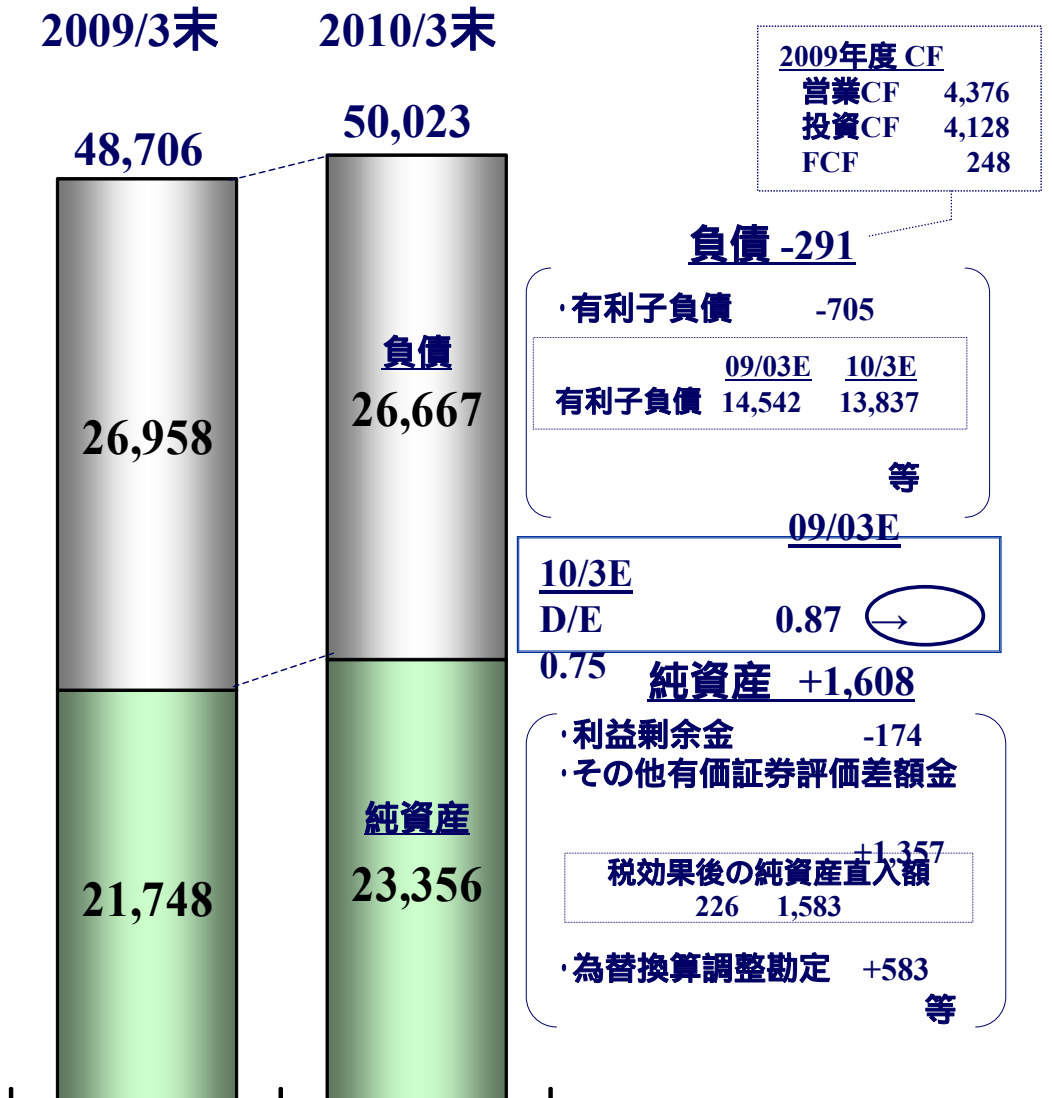
## 資産の部

(億円)



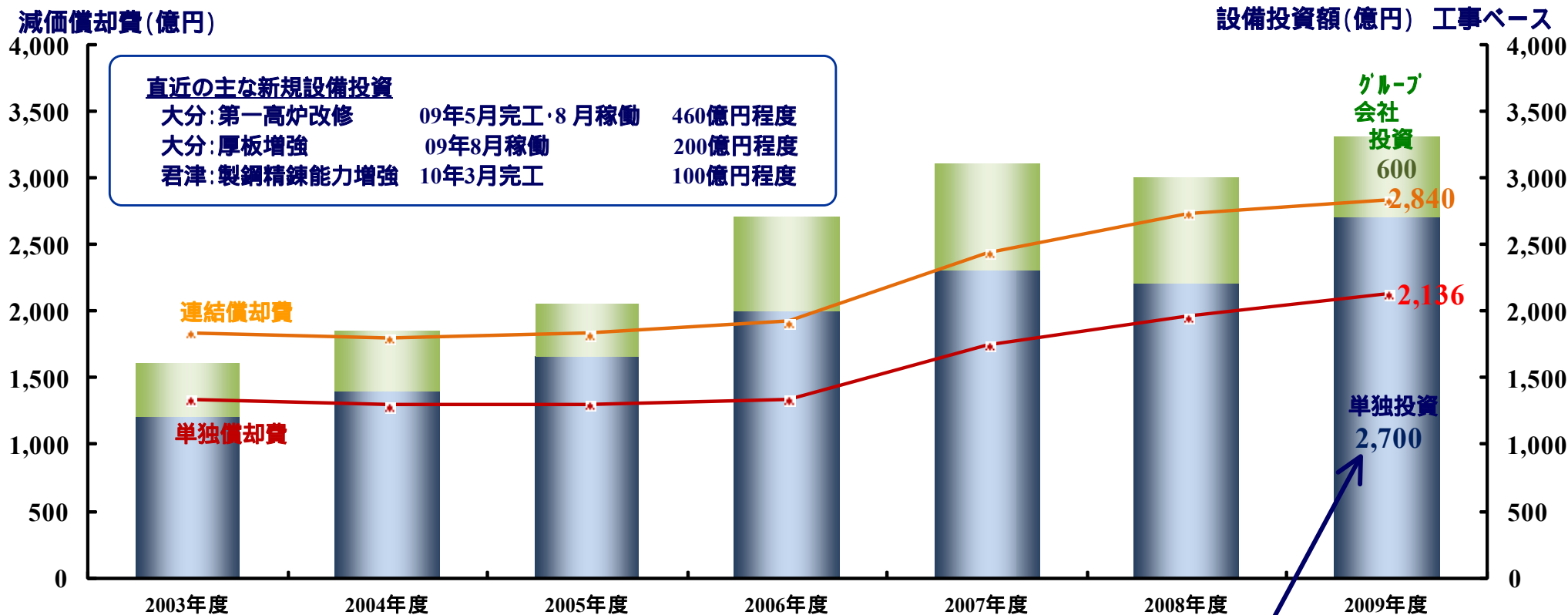
## 負債および純資産の部

(億円)



# 設備投資・減価償却費

設備投資額 (減価償却費)	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
連結(億円)	1,600 (1,840)	1,850 (1,805)	2,050 (1,833)	2,700 (1,925)	3,100 (2,440)	3,000 (2,737)	3,300 (2,840)
単独(億円)	1,200 (1,340)	1,400 (1,299)	1,650 (1,306)	2,000 (1,342)	2,300 (1,749)	2,200 (1,963)	2,700 (2,136)



能力増強・高級鋼対応 コスト削減  
老朽更新・補修 製造基盤整備・安全防災環境

---

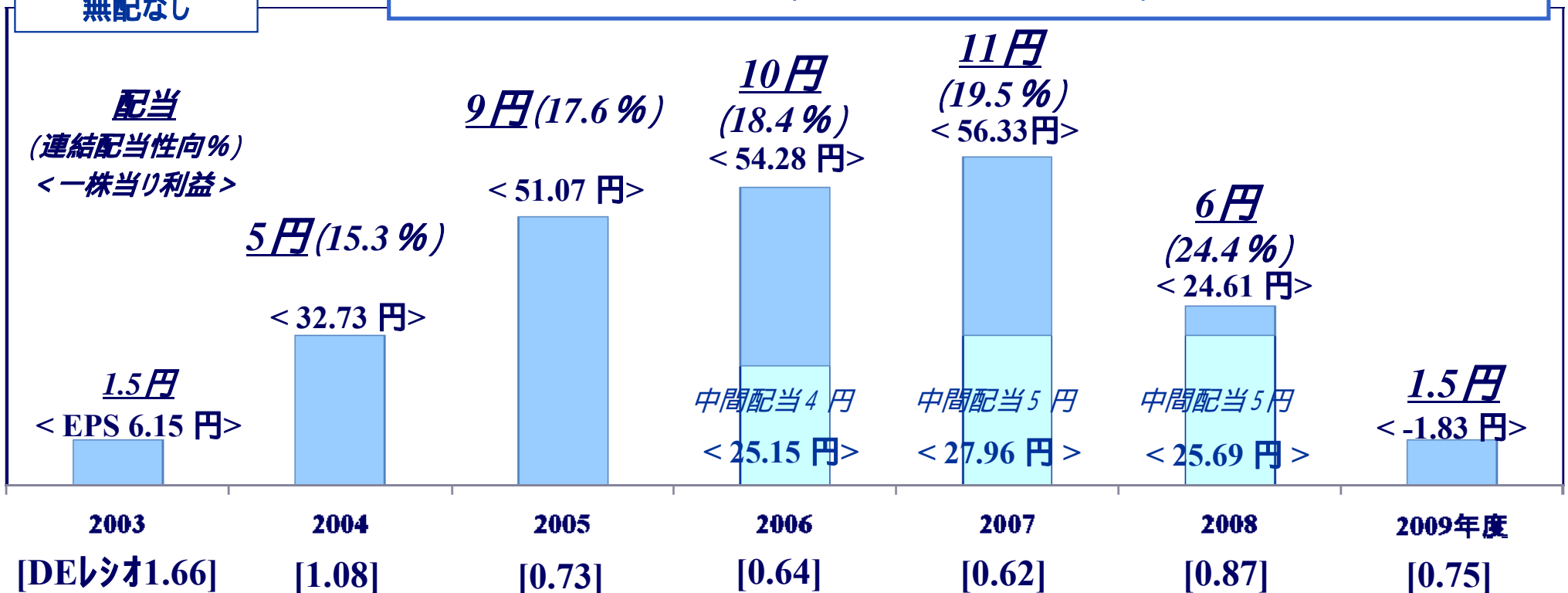
## 2. 剰余金の配当について

# 期末の剰余金の配当について

期末の剰余金の配当につきましては、第3四半期決算発表時に公表致しましたとおり、一株につき1円50銭として定時株主総会に御提案させていただく予定であります。

長期安定配当  
1970年以來  
無配なし

2004年から配当方針変更：連結業績に応じた利益配分  
(連結配当性向 20%程度)





---

### 3. 2011年3月期見通しについて

## 2010(平成22)年度見通しについて

2010(平成22)年度の業績につきましては、現在、各需要家との間で主原料価格の大幅上昇等を踏まえた鋼材の価格改定につき交渉中であること、また今年度以降の主原料価格、値決め方法等につき各サプライヤーと交渉中であること等から、現時点では当社として合理的な算定・予想を行うことが出来ません。

したがって、2010(平成22)年度の業績予想は未定とし、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示致します。第1四半期決算発表時に改めて状況を御説明致します。

# 2010(平成22)年度以降の利益配分に関する基本方針

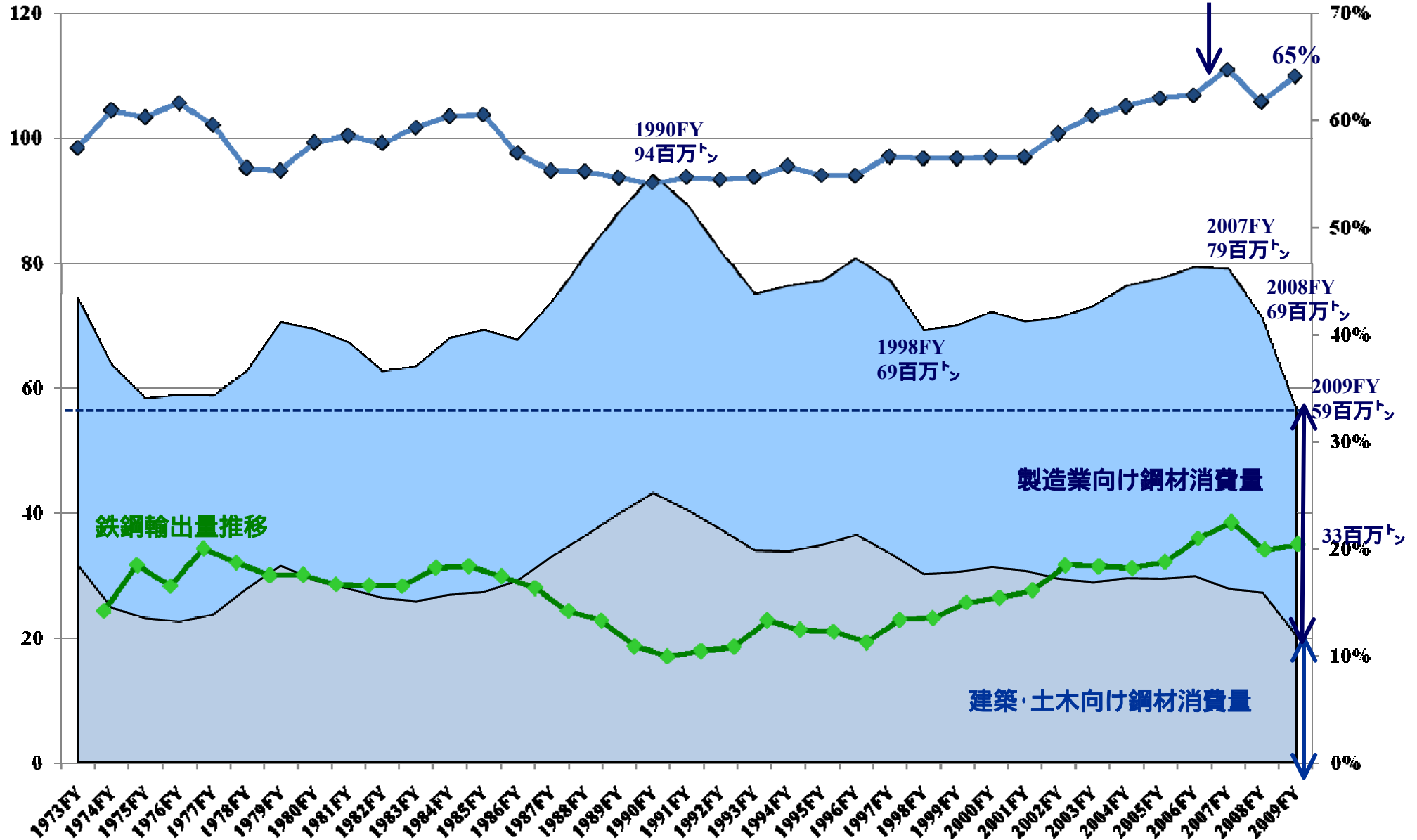
当社は、利益配分に関する基本方針について一部を見直し、2010(平成22)年度以降の配当に適用することと致しました。見直し後の方針は次のとおりです。

当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20%程度を基準と致します。

# 国内鋼材消費推移 (1973年度以降)

左軸: 鋼材数量 (百万トﾝ/FY)

右軸: 製造業向け比率 (%)

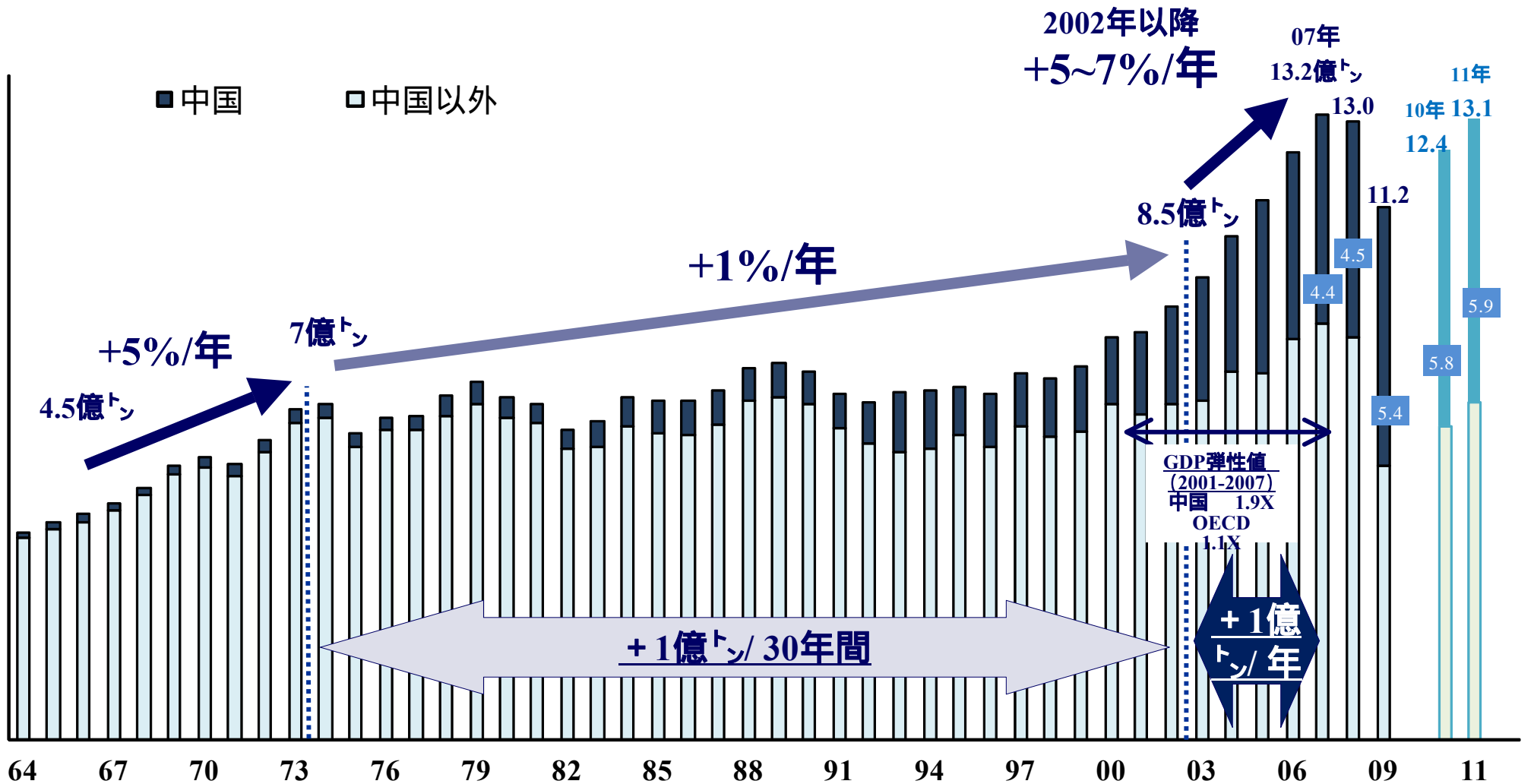


# 世界の鉄鋼需要推移 (粗鋼見掛消費)

世界合計

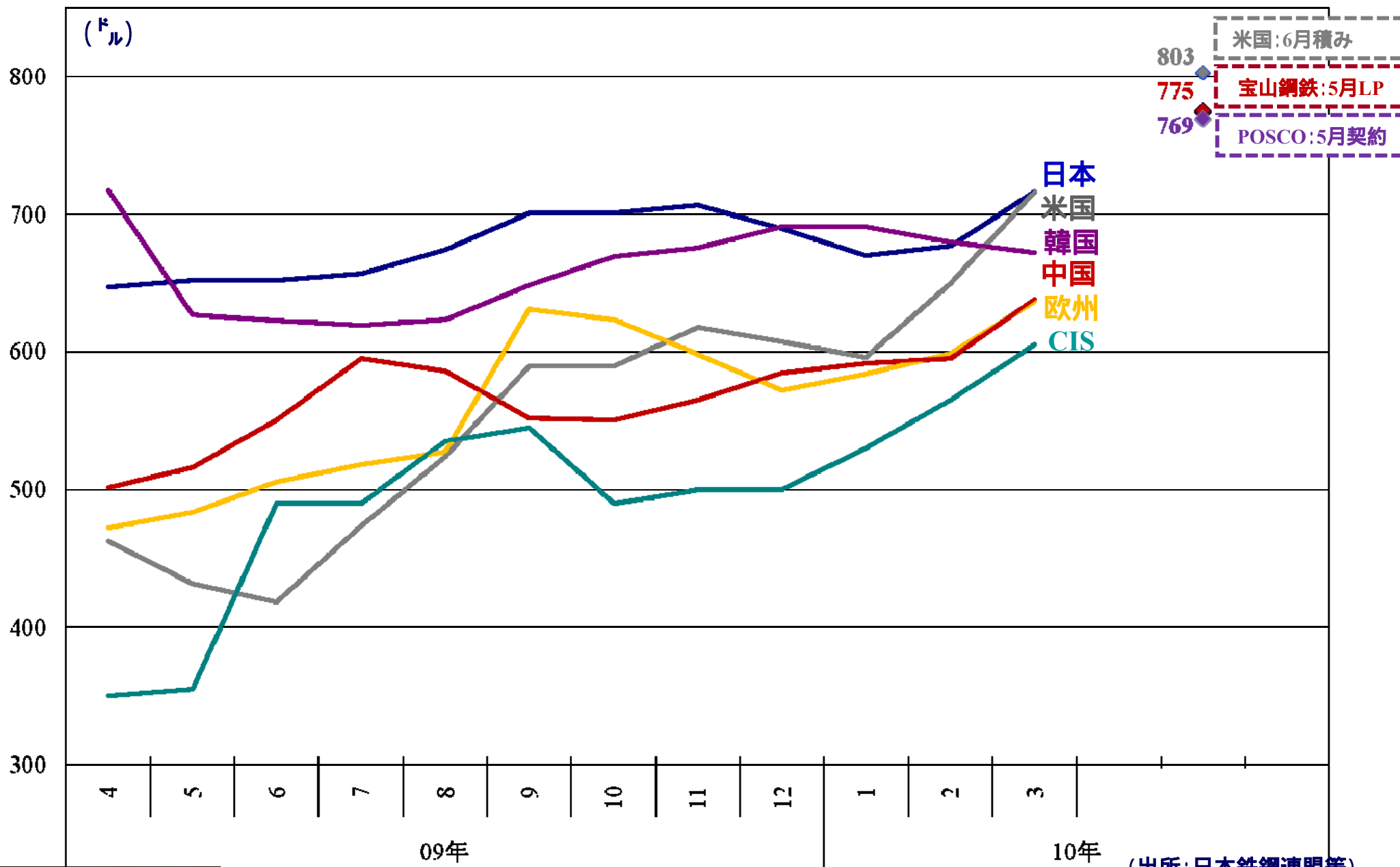
<2007年> 13.2億ト	→	<08年実績> 13.0億ト	→	<09年実績> 11.2億ト	→	<10年予測> 12.4億ト	→	<11年予測> 13.1億ト
-------------------	---	-------------------	---	-------------------	---	-------------------	---	-------------------

(WSA 10年4月発表、09年～11年は鋼材見掛消費)



(出所: world steel association)

# 世界各国ホットコイル市況推移



# 世界の経済成長率推移

< 2010年4月21日IMF改定値 >

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010 見通し 前回(2010.1.26)		2011 見通し
世界合計	3.6	4.9	4.4	5.1	5.2	3.0	-0.6	3.9	4.2	4.3
先進諸国	1.9	3.2	2.6	3.0	2.7	0.5	-3.2	2.1	2.3	2.4
米国	2.5	3.6	3.1	2.8	2.1	0.4	-2.4	2.7	3.1	2.6
欧州	0.8	2.1	1.6	2.8	2.7	0.6	-4.1	1.0	1.0	1.5
日本	1.4	2.7	1.9	2.4	2.3	-1.2	-5.2	1.7	1.9	2.0
新興諸国	6.3	7.5	7.1	7.9	8.3	6.1	2.4	6.0	6.3	6.5
中国	10.0	10.1	10.4	11.6	13.0	9.6	8.7	10.0	10.0	9.9
インド	6.9	7.9	9.1	9.8	9.4	7.3	5.7	7.7	8.8	8.4
ASEAN5 *	5.8	6.1	5.5	5.7	6.3	4.7	1.7	4.7	5.4	5.6
ロシア	7.3	7.2	6.4	7.4	8.1	5.6	-7.9	3.6	4.0	3.3
ブラジル	1.1	5.7	3.2	3.8	5.7	5.1	-0.2	4.7	5.5	4.1

\* ASEAN 5: タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ヴェトナム

(出所: IMF 世界経済見通し)

---

## 中長期的な取り組み



# 平成23(2011)年度中期経営計画のコンセプト

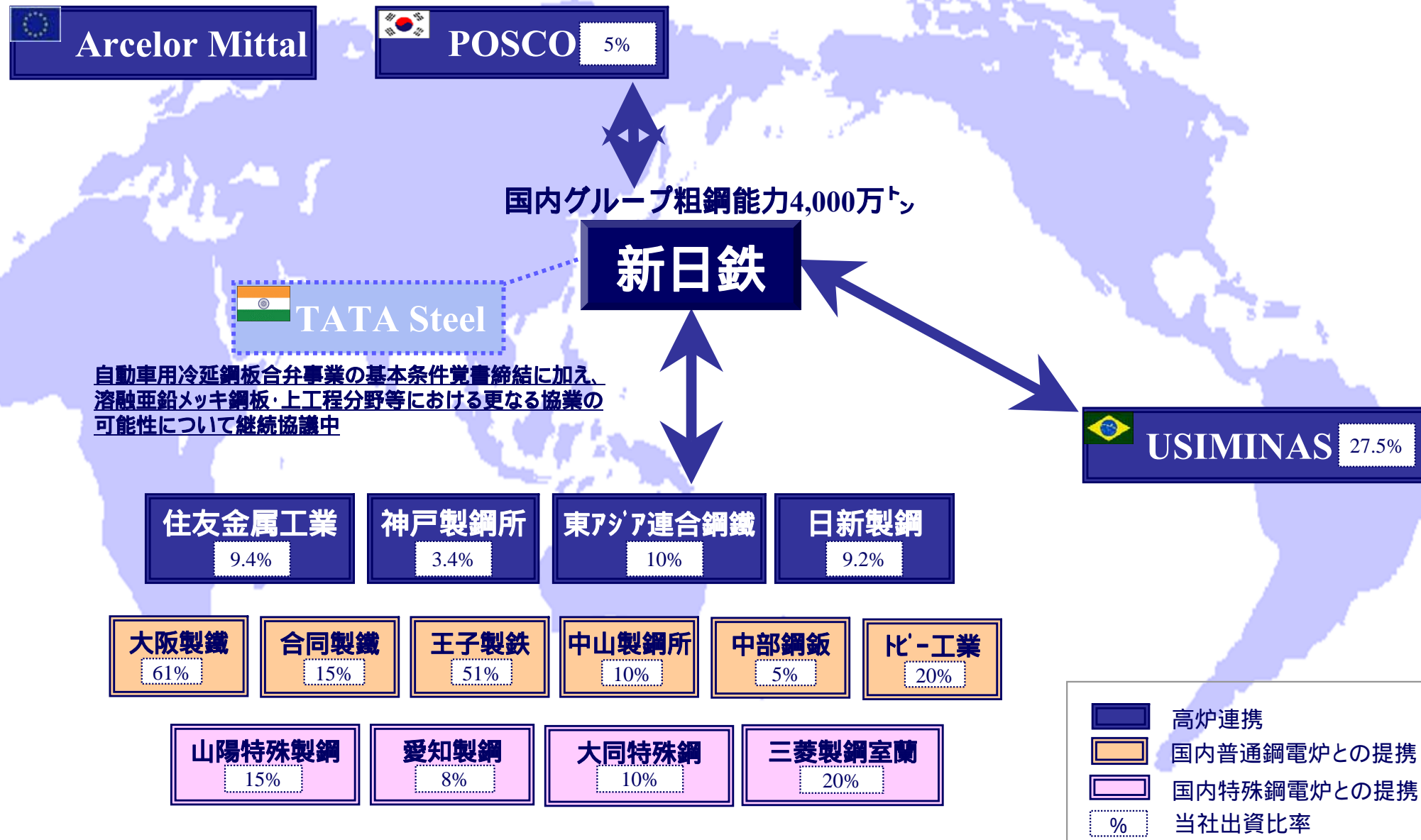
<2010年1月28日公表>

平成23(2011)年度までに、新日鉄の競争力基盤の再構築を完了、あわせて、グローバル展開の布石を打つ

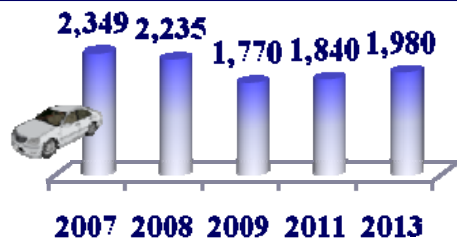
1. 総合力No.1企業を目指した企業体質の構築と収益基盤の確保
2. グローバル成長戦略の着実な推進
3. 国内外アライアンス効果の最大発揮
4. 財務体質と成長投資の両立
5. 組織業務運営の改善と人材育成
6. 製鉄事業グループ会社の体質強化等

当社6事業セグメント(製鉄、エンジニアリング、都市開発、化学、新素材、システムソリューション)総合力を結集し、お客様ニーズに応える「総合ソリューション提案」を通じて、エネルギー・環境分野等の新しい需要に的確に対応

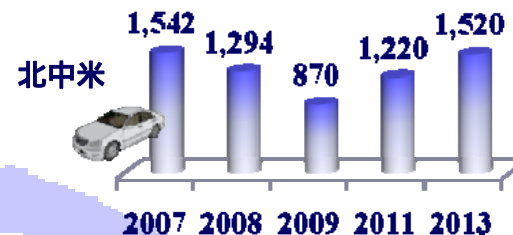
# グローバルアライアンスネットワーク(鉄源一貫)



# グローバル自動車用鋼板等供給体制



海外JV生産合計  
600万ト  
(当社持分換算250万ト程度)



**欧州**  
Arcelor Mittal社/技術クロスライセンス

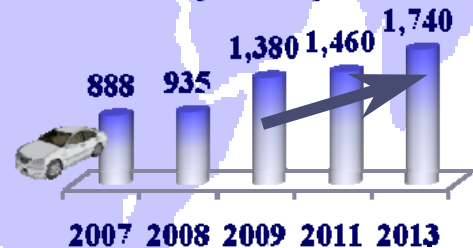
**米国**  
I/N Tek 40%  
I/N Kote 50%

**中国**  
BNA 38%

**新日鉄**

[冷延170万ショートト/ CAPL120万ショートト]  
[CG50万ショートト/ EG45万ショートト]

[冷延176万ト/ CAPL95万ト/ CG80万ト]  
#3CGLライン[45万ト]稼働(2010年2月)



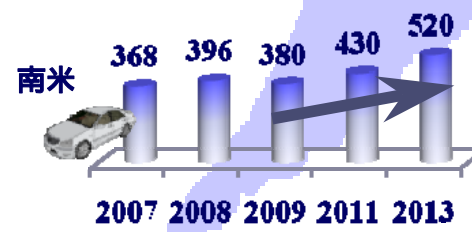
**タイ**  
SUS 45%

**ブラジル**  
UNIGAL 30%

**インド**  
TATA社とのJV 49%



[冷延 100万ト]  
[CG 48万ト]  
#2CGLライン[55万ト]増設(2011年)



完成車生産台数  
(実績・予測)万台



(出所: 各種公表情報等・当社推定)



# グローバル加工・流通・営業拠点

- ★ 子会社
- ★ 関連会社
- ★ 出資会社


(自動車用鋼板供給拠点除く)  
%は当社グループ出資比率

 **スウェーデン**  
★ Garphyttan社買収 100%  
(弁ばね用ワイヤメーカー)

**新日鉄**

 **南アフリカ**  
★ SAFAL STEEL社出資 7%  
(メッキ・カラー鋼板)

 **中国**  
★ 無錫NSP 61%  
(自動車用パイプ) <無錫>  
★ PATIN (ブリキ) <広州> 25%  
★ NBC China (棒線) <蘇州> 42%

 **タイ**  
★ STP (ブリキ) 16%  
★ SNP (鋼管) 60%  
★ NBC Thailand (棒線) 42%

 **インドネシア**  
★ LATINUSA社買収 35%  
(容器用ブリキ)

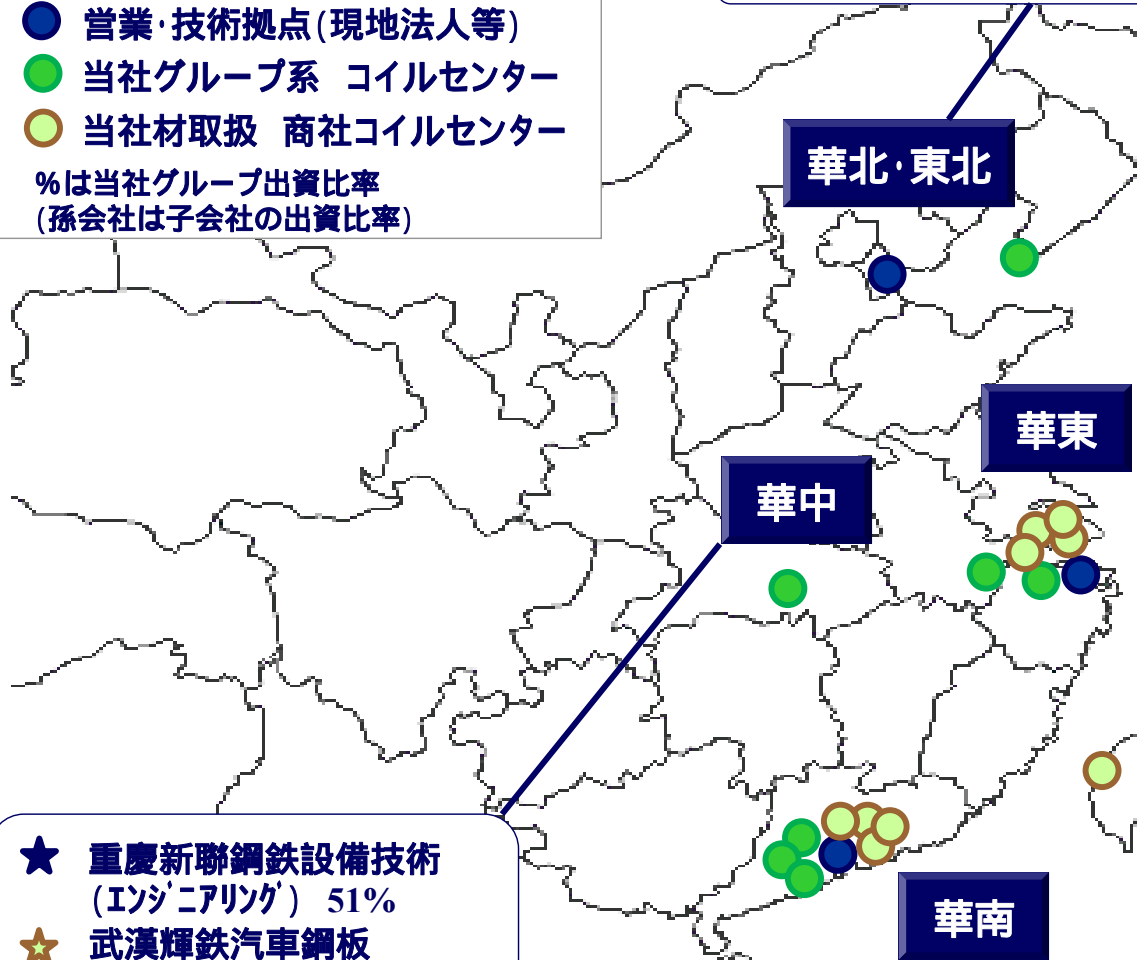
 **ベトナム**  
★ POSCO Vietnam社出資 15%  
(冷延ミル)  
★ PEB STEEL社出資 12%  
(建材薄板ファブ)

 **マレーシア**  
★ Nippon EGalv Steel社出資 10% (電気亜鉛メッキ)  
★ YKGI社出資 10%  
(溶融亜鉛メッキ・カラー鋼板)

- 営業・技術拠点(現地法人等)
- 当社グループ系 コイルセンター
- 当社材取扱 商社コイルセンター

# 新日鉄グループ中国事業展開

- ★ 子会社
  - ★ 関連会社
  - ★ 出資会社
  - 営業・技術拠点(現地法人等)
  - 当社グループ系 コイルセンター
  - 当社材取扱 商社コイルセンター
- %は当社グループ出資比率  
(孫会社は子会社の出資比率)



- ★ 大連藤洋鋼材加工(二次加工) 5%
- ★ 北京中日聯節能環保工程技術(エンジニアリング) 60%
- ★ 北新房屋(スチールハウス) 北京 10%

- ★ 無錫日鉄汽车配件(自動車用パイプ) 江蘇 61%
- ★ 日鉄特殊鋼棒線製品(棒線) 蘇州 42%
- ★ 宝鋼新日鐵自動車鋼板(自動車用鋼板) 38%
- ★ 蘇州日鉄金属製品(鋼材加工販売) 5%+40%(NST)
- ★ 上海嘉日鋼板製品(鋼材加工販売) 5%+40%(NST)
- ★ 無錫東元電機(電磁) 江蘇 6%
- ★ 上海中鍊線材(懸架パネ) 5%
- ★ 江蘇双友東網金属製品(メッキ鋼線) 16%
- ★ Suzuki Garphyttan(パネ) 蘇州 100%
- ★ 上海日建大中冶金材料(二次加工) 71%
- ★ 日鉄住金鋼板貿易(二次加工) 上海 100%
- ★ 新日鉄設備工程(エンジニアリング) 上海 100%
- ★ 馬鞍山中日資源再生工程技術(エンジニアリング) 51%
- ★ 杭州日茂新材料(ボンディングワイヤ) 81%
- ★ 杭州日鉄排気装置(メタル担体) 100%
- ★ 新日鉄軟件(システムソリューション) 上海 83%

- ★ 重慶新聯鋼鉄設備技術(エンジニアリング) 51%
- ★ 武漢輝鉄汽車鋼板(自動車用鋼板加工) 50%
- ★ 武漢漢威炉外精鍊工程(エンジニアリング) 33%

- ★ 広州太平洋馬口鐵(ブリキ) 25%
- ★ 広州盛旭汽车配件(鋼管) 20%
- ★ 広州友日汽车配件(鋼管) 15%
- ★ 日鉄物流広州(海運) 100%
- ★ 鈴木住電鋼線製品(ステンレス鋼線) 100%

伸びゆく海外マーケットの成長需要・地域ニーズの的確な捕捉

国内グループ粗鋼能力(4000万トン規模)を活かした  
グローバルな加工・販売体制の拡充

**アジア  
拠点**

アジア市場での  
生産・加工拠点拡充と  
新規立地を  
検討・実行

**新日鉄**

国内  
グループ粗鋼  
4000万トン規模

伯・ウジミナス社(出資比率27.5%のグループ会社)の  
能力・品質対応力強化を通じた  
米州市場や大西洋圏でのプレゼンス拡大

**USIMINAS**

米州・大西洋圏拠点

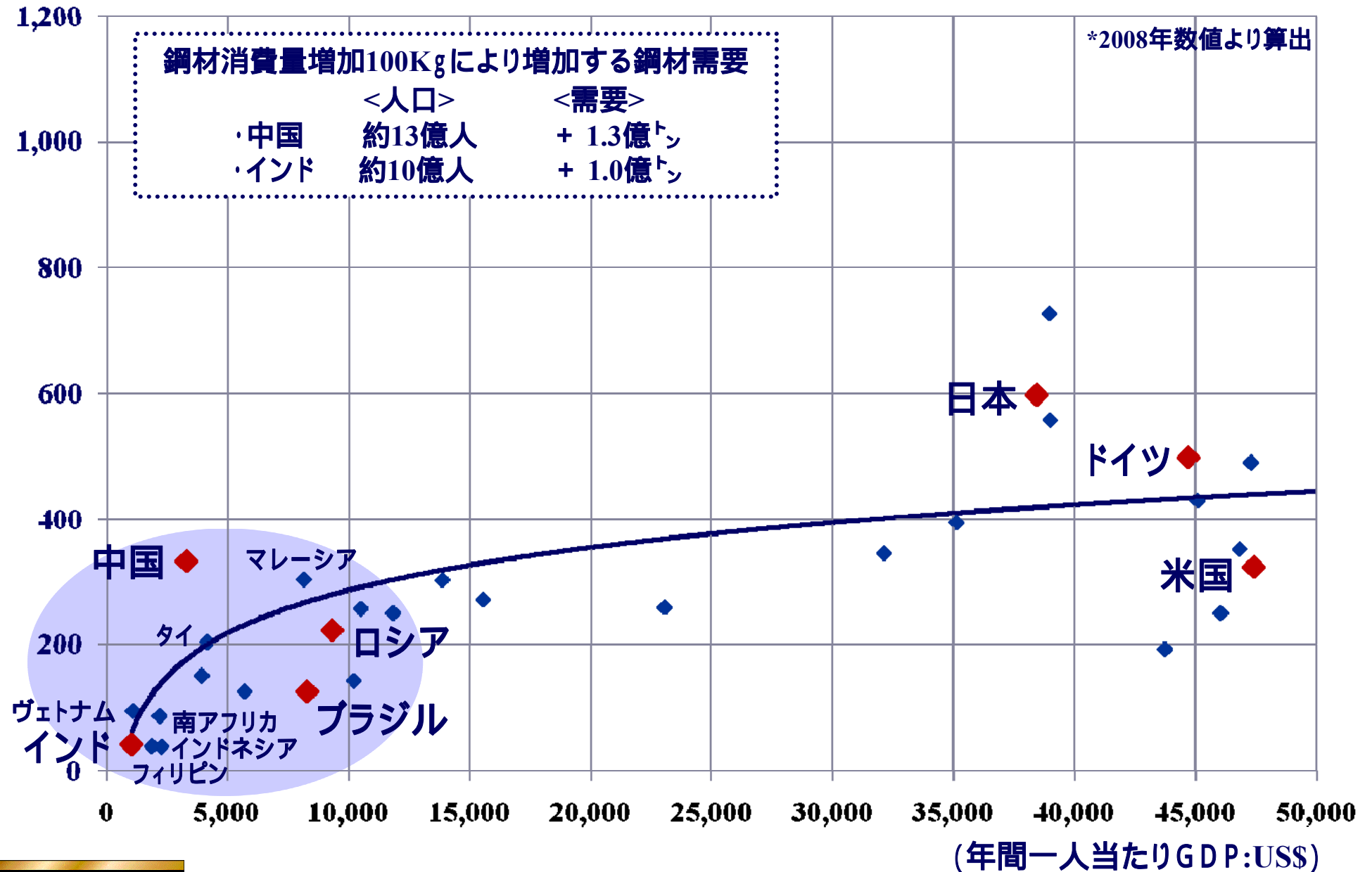


世界3極体制の構築  
グローバル生産規模 5,000～6,000万トン  
(将来想定)

総合力No.1企業に相応しい企業体質・成長力・収益力を有する  
真の「グローバル企業グループ」の実現

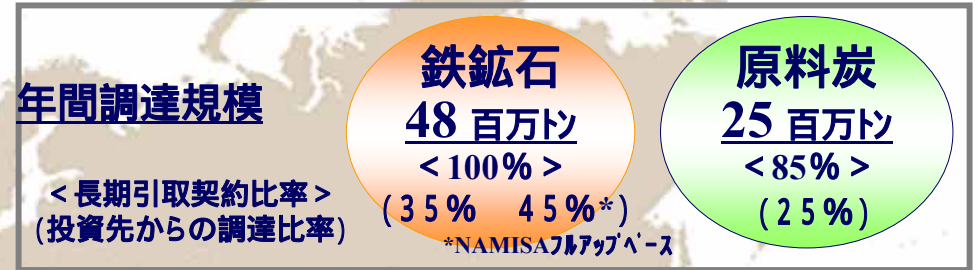
# 各国一人当たり鋼材消費量とGDPの相関関係

(年間一人当たり鋼材消費量:Kg)



# 当社の原料調達

優良な原料権益の取得・使用ソースの拡大(投資先からの調達比率アップ)



カナダ  
4,500 miles  
(14 日間)

IOC  
Elkview 2.5%

ベネズエラ

NAMISA 6.48%

Venezuela CVG

J.Mendes 100%(USIMINAS)

ブラジル

NIBRASCO 25.4%

Vale Carajas

MBR 2.4%

Casa de Pedra

Vale Itabira

Kumba  
南アフリカ

GOA  
MMTC  
インド

インド

インドネシア

4,000 miles  
(12 日間)

新日鉄

Yandi  
オーストラリア

BMA, Peabody etc

Robe River 10.5%

Hail Creek 8.0%

Beasley River 28.2%

Moranbah North 5.0%

Newman  
Pilbara Brend

Carborough Downs 5.0%

NSNC (Breeding) 80.0%

Warkworth 9.5%

PWCS (Seaport) 3.1%

Integra 3.6%  
Bulga 12.5%

12,000 miles  
(40 日間)

長期引取契約・出資鉱山  
▲ 鉄鉱石  
● 原料炭  
% 当社出資比率  
(数字は2007年度ベース)

長期安定輸送(長期契約比率:80%超)  
新日鉄専用船2009年度 41隻保有  
うち世界最大級鉄鉱石専用船 4隻  
(日本-ブラジル間/30~32万ト型)





---

需要動向・生産諸元等

# 製鉄事業諸元前提

	08年度					09年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度実績	1Q	2Q	3Q	4Q	年度実績
全国粗鋼生産量 万トン	3,106	3,045	2,640	1,760	10,550	1,909	2,424	2,661	2,651	9,645
当社出銑量 <sup>*1</sup> 万トン	804	804	747	495	2,849	484	635	770	768	2,657
連結粗鋼生産量 <参考>当社単独 万トン	916 <830>	906 <826>	797 <737>	504 <467>	3,124 <2,861>	537 <482>	738 <673>	872 <810>	845 <785>	2,992 <2,750>
当社鋼材出荷量 万トン	808	829	712	471	2,820	473	674	760	802	2,709
当社販売価格 千円/トン	92.0	108.2	112.4	108.5	104.7	88.4	72.7	72.5	72.7	75.4
鋼材輸出比率 (金額ベース) %	31.8	35.0	31.8	30.1	32.5	33.1	38.9	38.8	41.3	38.4
為替レート ¥/\$	104	108	99	93	102	97	95	89	90	92

\*1 北海製鉄の出銑量含む

# 主要需要分野の鋼材消費推移

	08年度					09年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	年度実績	1Q	2Q	3Q	4Q	年度実績
<b>国内鋼材消費</b> 万トン	<b>1,906</b>	<b>1,892</b>	<b>1,663</b>	<b>1,427</b>	<b>6,888</b>	<b>1,421</b>	<b>1,501</b>	<b>1,530</b>	<b>1,463</b>	<b>5,915</b>
製造業比率	65.4%	63.1%	59.0%	56.3%	61.3%	61.4%	64.3%	66.5%	68.2%	65.2%
<b>普通鋼鋼材消費</b> 万トン	<b>1,558</b>	<b>1,574</b>	<b>1,448</b>	<b>1,184</b>	<b>5,764</b>	<b>1,138</b>	<b>1,198</b>	<b>1,231</b>	<b>1,172</b>	<b>4,739</b>
<b>建設</b> 万トン	<b>624</b>	<b>662</b>	<b>649</b>	<b>590</b>	<b>2,525</b>	<b>503</b>	<b>501</b>	<b>493</b>	<b>436</b>	<b>1,933</b>
<b>製造業</b> 万トン	<b>934</b>	<b>912</b>	<b>799</b>	<b>594</b>	<b>3,239</b>	<b>635</b>	<b>697</b>	<b>738</b>	<b>736</b>	<b>2,806</b>
(うち造船) 万トン	<b>151</b>	<b>153</b>	<b>159</b>	<b>161</b>	<b>624</b>	<b>152</b>	<b>148</b>	<b>145</b>	<b>144</b>	<b>589</b>
(うち自動車) 万トン	<b>358</b>	<b>352</b>	<b>280</b>	<b>168</b>	<b>1,158</b>	<b>209</b>	<b>259</b>	<b>288</b>	<b>286</b>	<b>1,042</b>
<b>特殊鋼鋼材消費</b> 万トン	<b>348</b>	<b>318</b>	<b>215</b>	<b>243</b>	<b>1,124</b>	<b>283</b>	<b>303</b>	<b>299</b>	<b>291</b>	<b>1,176</b>

(各種統計資料・当社推定)

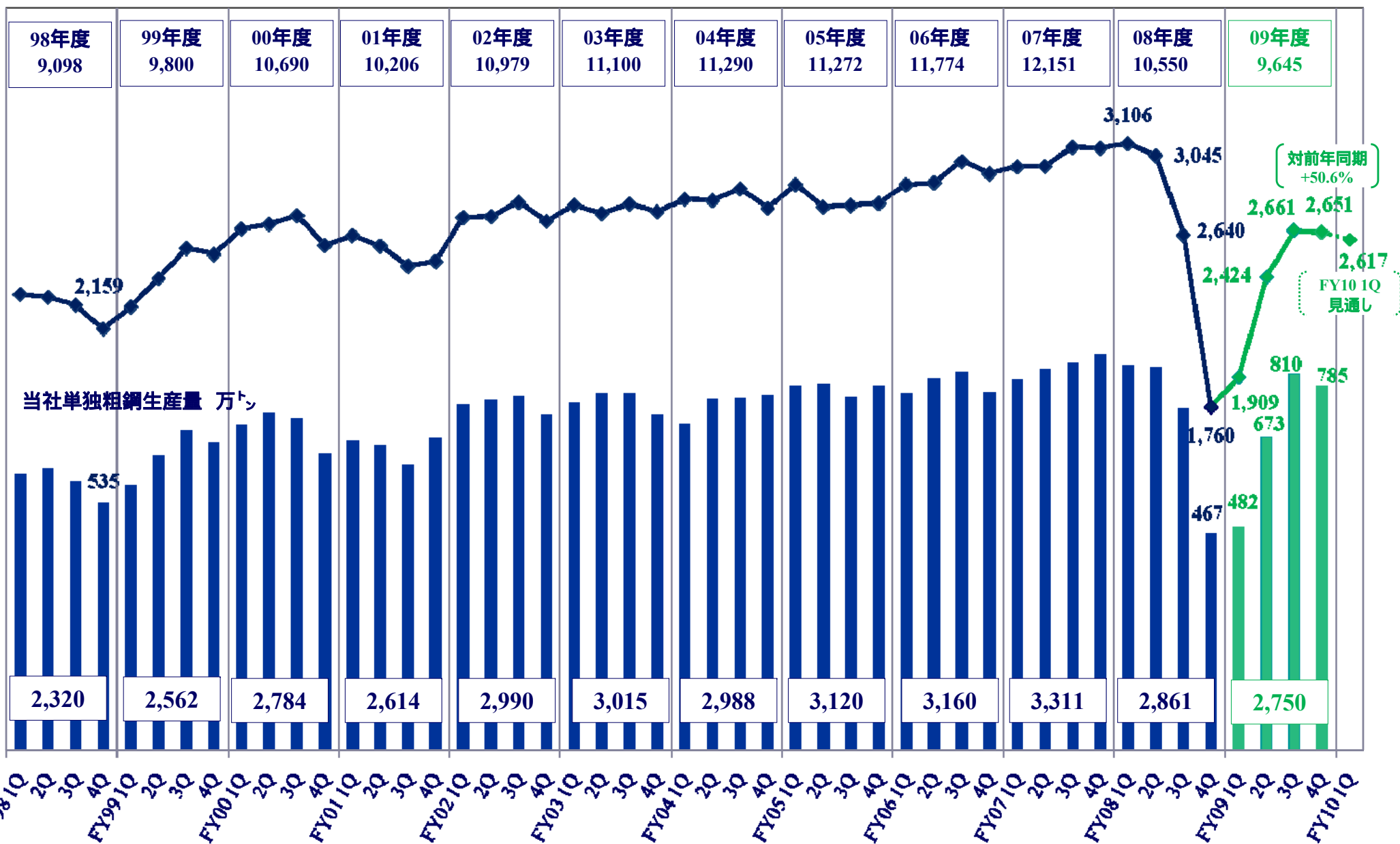
# 主要需要分野の活動水準推移

		08年度					09年度				
		1Q	2Q	3Q	4Q	年度実績	1Q	2Q	3Q	4Q	年度実績
建築	住宅着工戸数 万戸	28	28	25	22	103	19	18	20	20	77
土木	非住宅着工 万㎡	1,523	1,578	1,428	1,408	5,937	971	967	1,011	1,006	3,955
自動車	完成車生産台数 万台	288	292	260	161	1,001	171	214	247	256	888
	完成車輸出台数 万台	171	173	149	67	560	76	101	117	116	410
	KDセット輸出 万セット	216	198	193	98	705	152	197	227	211	787
産業機械	大中型ショベル 千台	22	22	16	6	66	4	4	8	10	26
	金属工作機械 千トン	123	129	103	68	423	35	36	43	48	162
	フォークリフト 千台	47	46	35	18	146	15	19	20	24	78
造船	新造船起工 (当社推定) 万GT	455	443	470	477	1,845	460	368	441	430	1,699

(各種統計資料・当社推定)

# 全国・当社粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量 万ト



# 世界主要地域国 粗鋼生産量推移

粗鋼生産量(万ト/月)

	08年 上期 月平均	10月	11月	12月	09年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2009 1-12月
世界計	11,605	9,879	8,780	8,441	8,679	8,470	9,214	8,899	9,591	9,967	10,390	10,650	10,882	11,341	10,708	10,697	121,972
対前年 同期	5.9%	13.9%	20.1%	24.3%	23.1%	21.4%	22.9%	23.6%	20.6%	16.2%	11.0%	5.5%	0.8%	14.8%	22.0%	26.7%	6.7%
日本	1,032	1,010	882	748	638	548	574	573	648	688	766	831	827	880	886	895	8,753
対前年 同期	4.2%	2.7%	12.9%	27.9%	37.8%	44.2%	46.7%	43.5%	38.6%	33.6%	24.9%	18.3%	18.0%	12.9%	0.5%	19.6%	▼26.3%
米国	849	676	470	392	408	395	395	380	431	436	504	555	578	599	571	586	5,814
EU27	1,823	1,605	1,276	907	1,008	1,007	1,032	943	1,079	1,123	1,122	1,051	1,331	1,427	1,401	1,202	13,914
ロシア	639	451	373	331	390	433	463	437	468	487	502	502	542	561	540	551	5,994
ブラジル	291	290	232	165	162	165	173	173	189	194	250	268	272	280	268	258	2,650
インド	453	481	465	450	472	410	474	458	473	458	473	477	470	493	480	541	5,661
中国	4,366	3,590	3,519	3,779	4,119	4,042	4,510	4,341	4,646	4,943	5,068	5,233	5,071	5,175	4,726	4,766	56,784
対前年 同期	9.6%	17.0%	12.4%	8.5%	1.5%	4.0%	0.5%	2.8%	1.0%	5.3%	12.9%	22.9%	28.0%	44.1%	34.3%	26.1%	13.1%

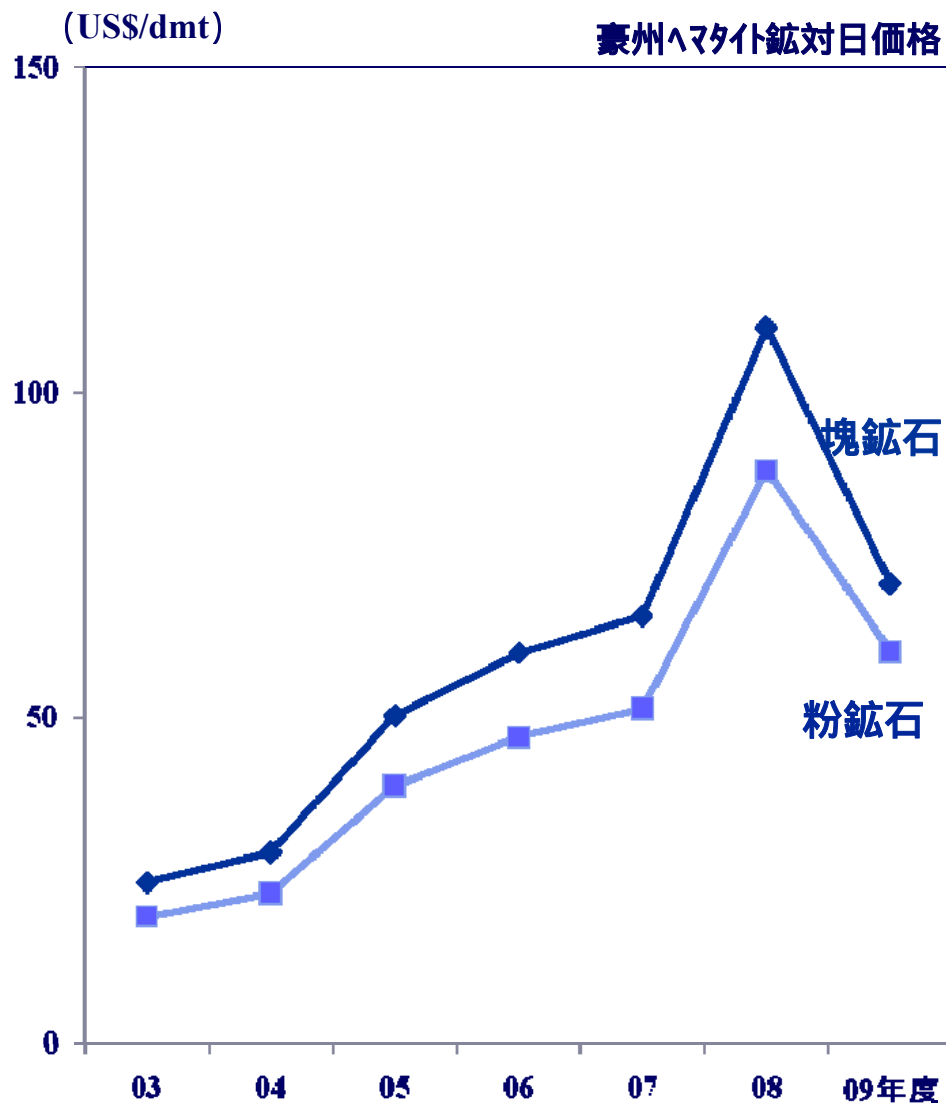
対前年同期: □ 40%以下 □ +0%以上

\*1-12月累計は年間集計調整後の公表値

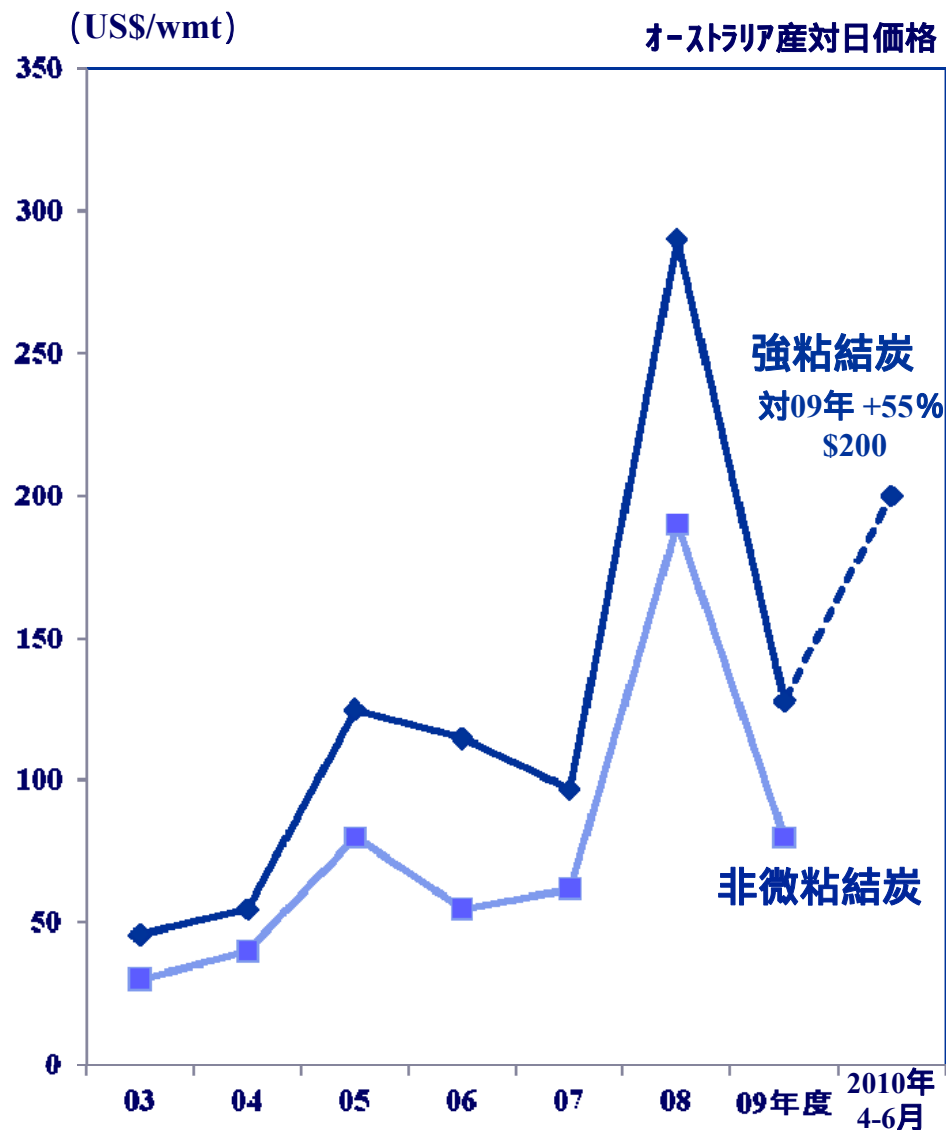
(出所: world steel association)

# 鉄鉱石・原料炭の国際価格推移

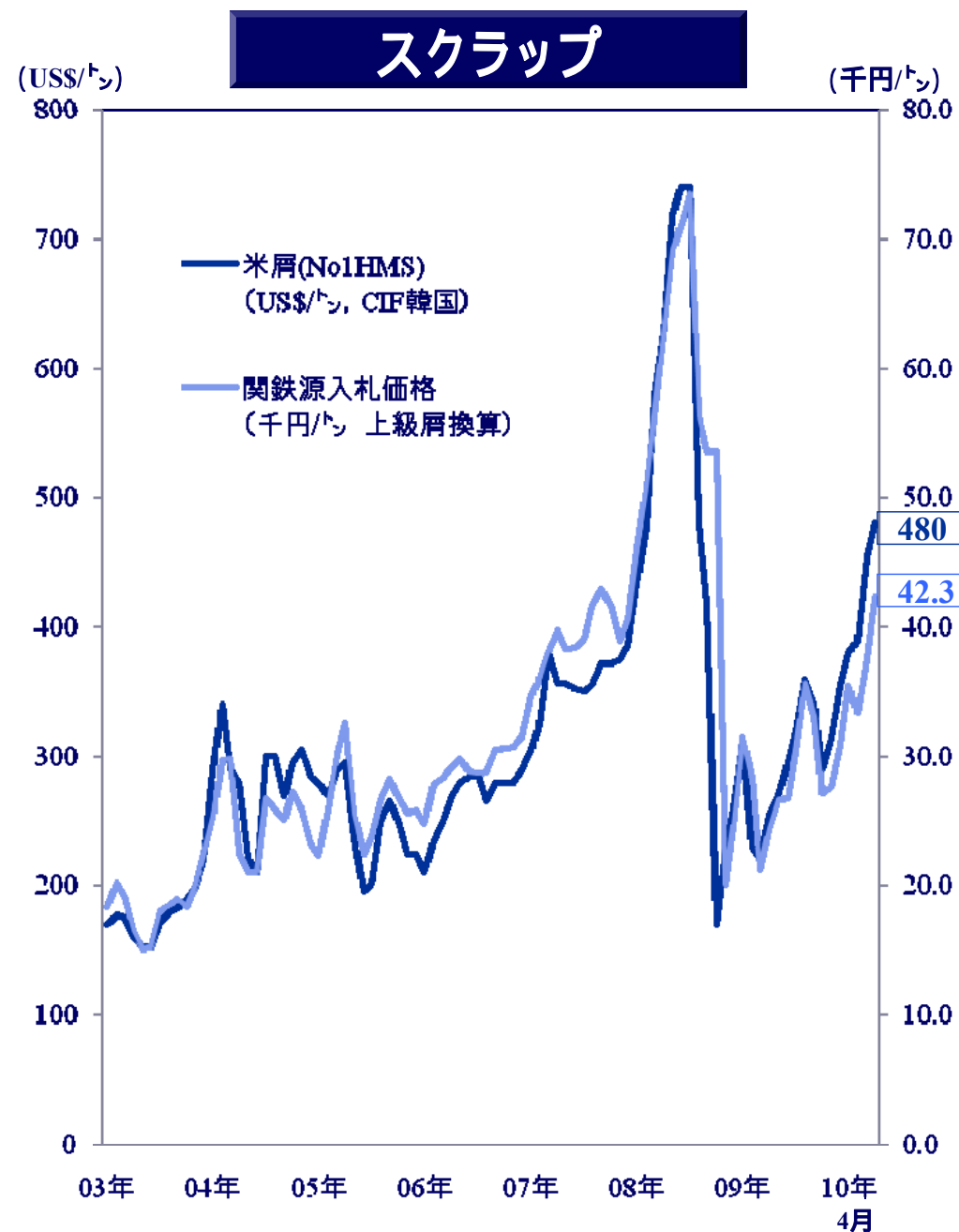
## 鉄鉱石



## 原料炭



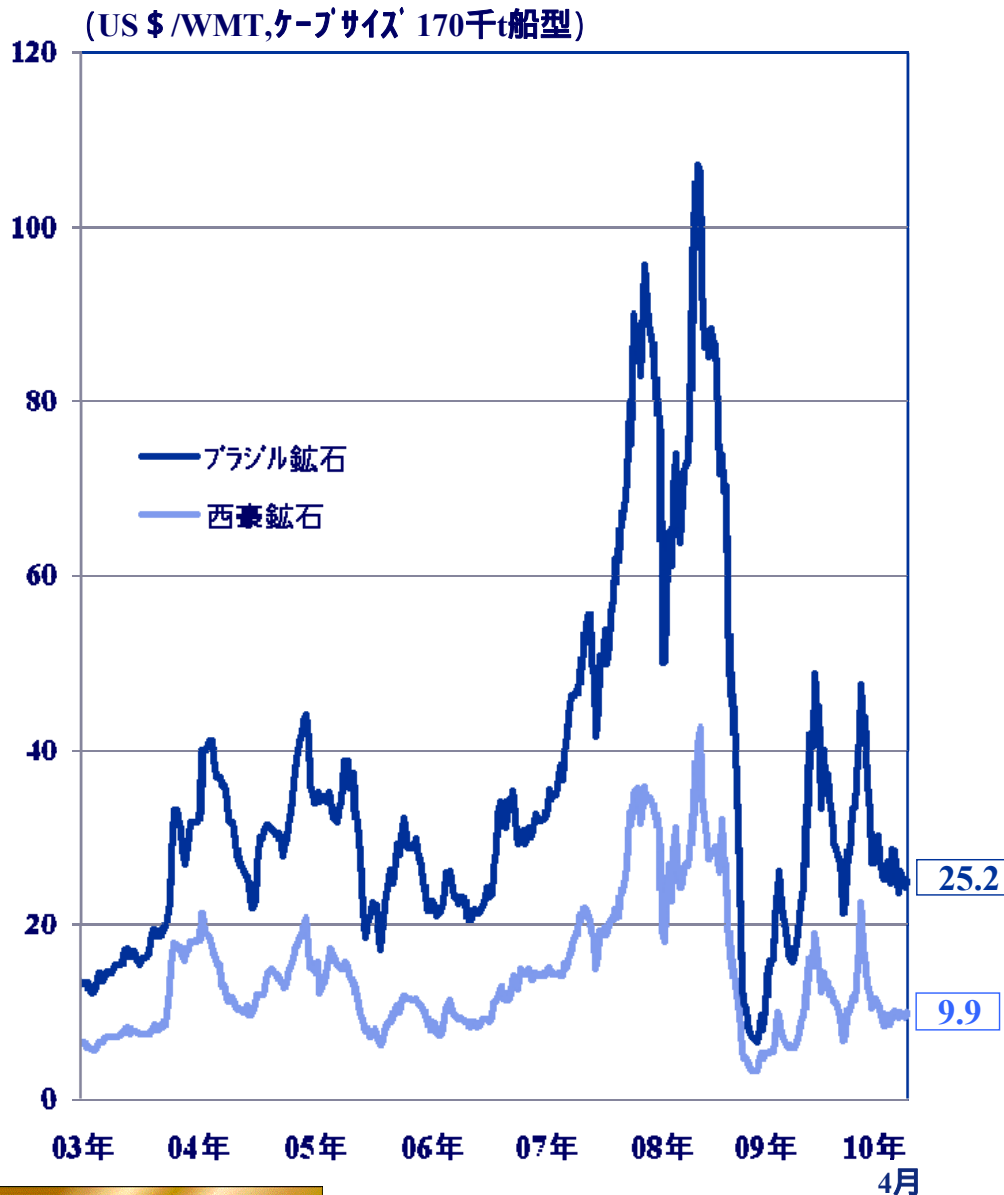
# 原料市況 < 原油・スクラップ >



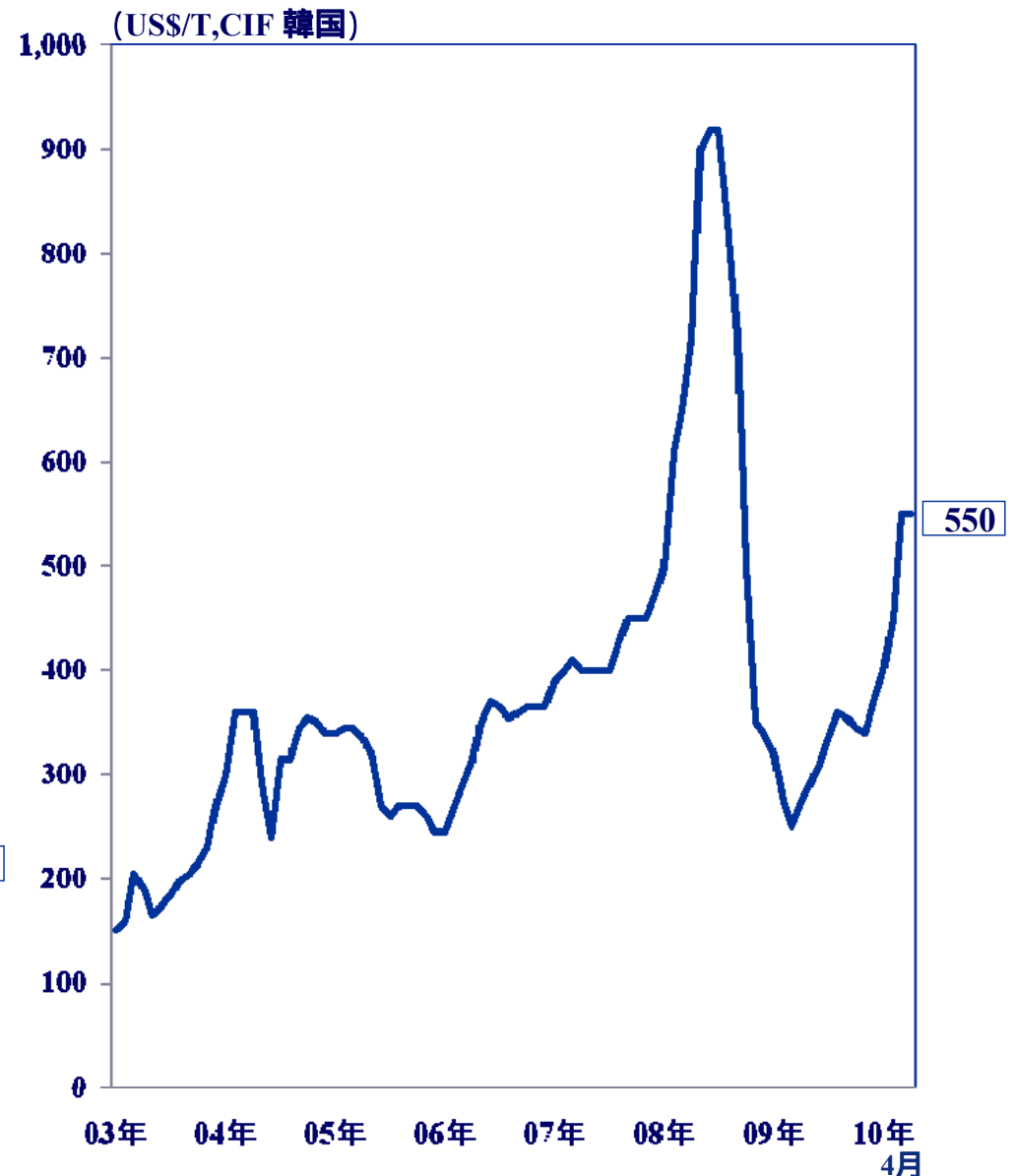


# 原料市況 <フレート・型鉄>

## フレート

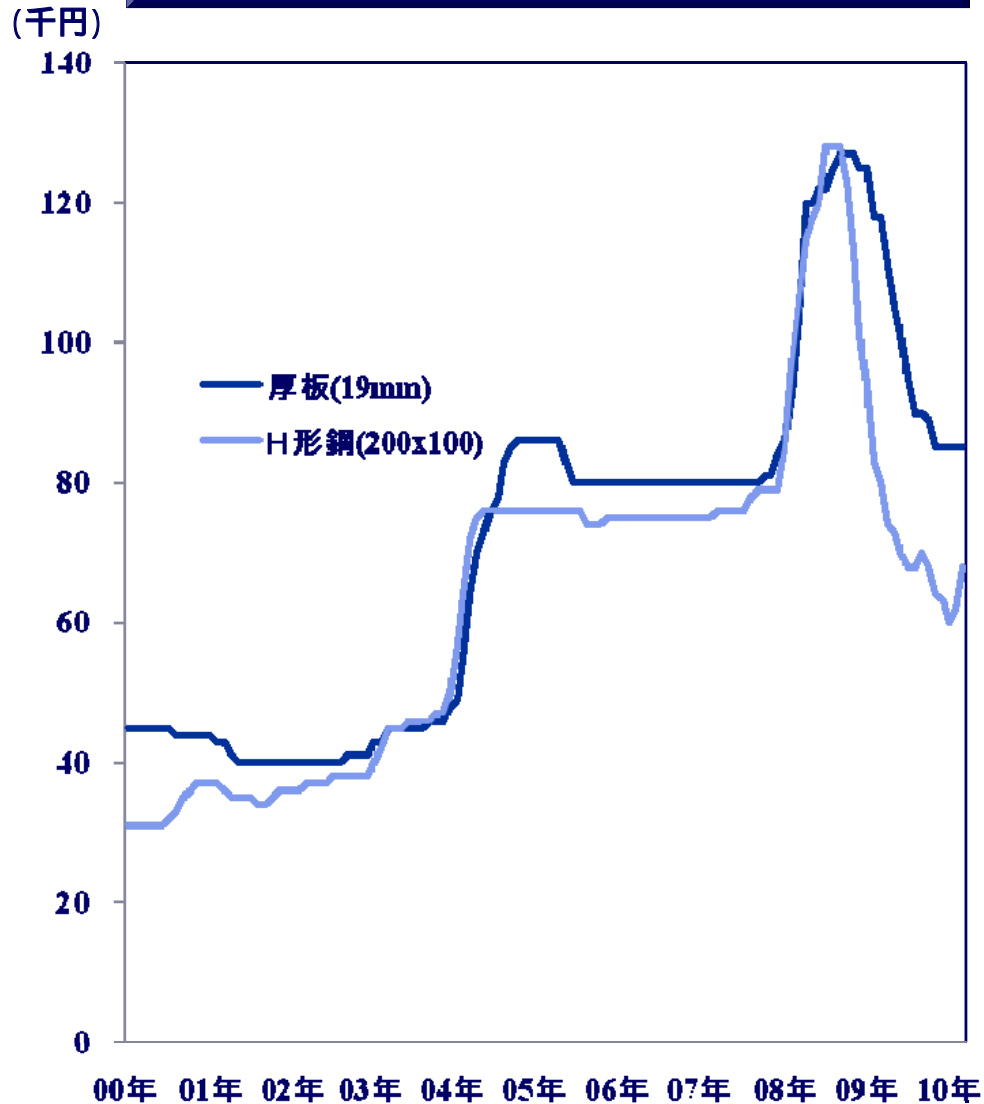


## 型鉄

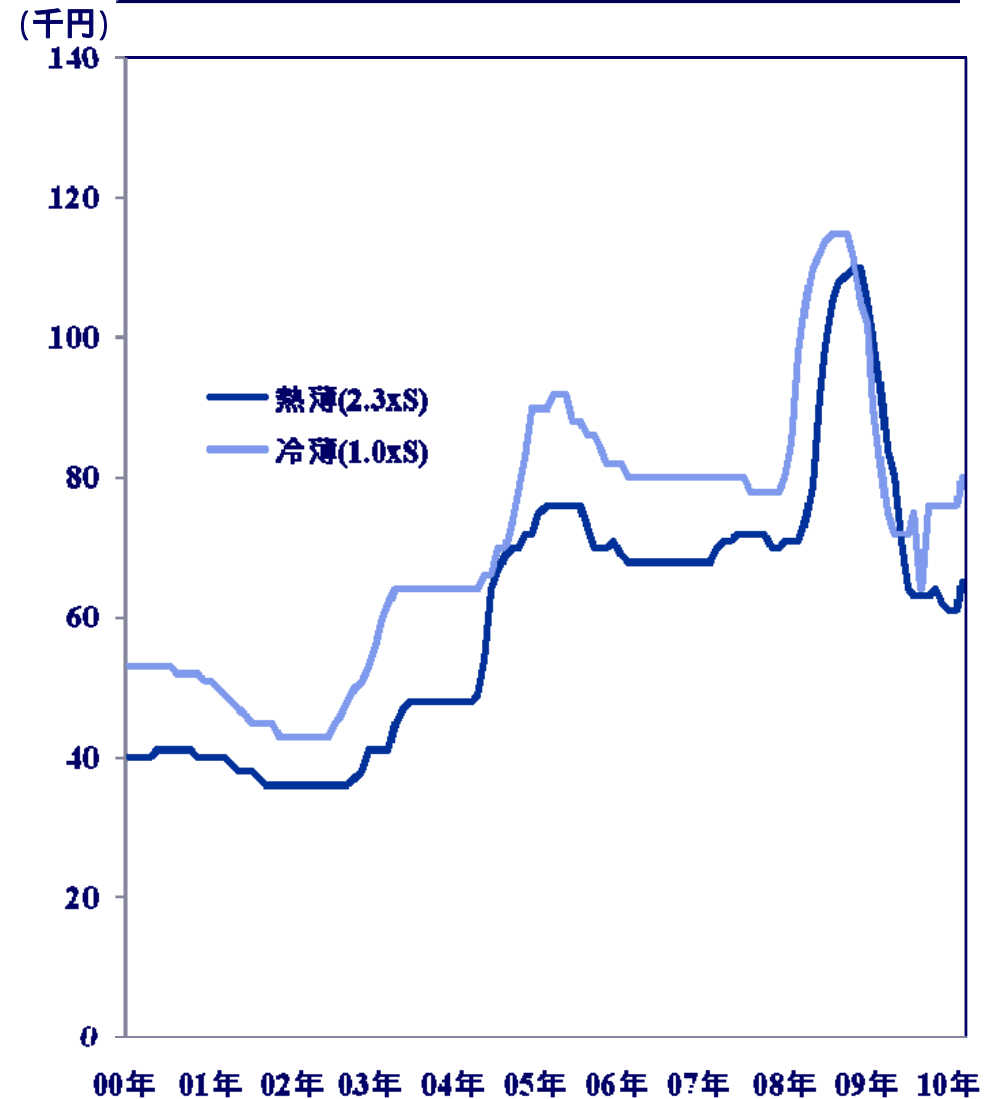


# 国内鋼材市況 (店頭価格)

## 厚板・H形鋼

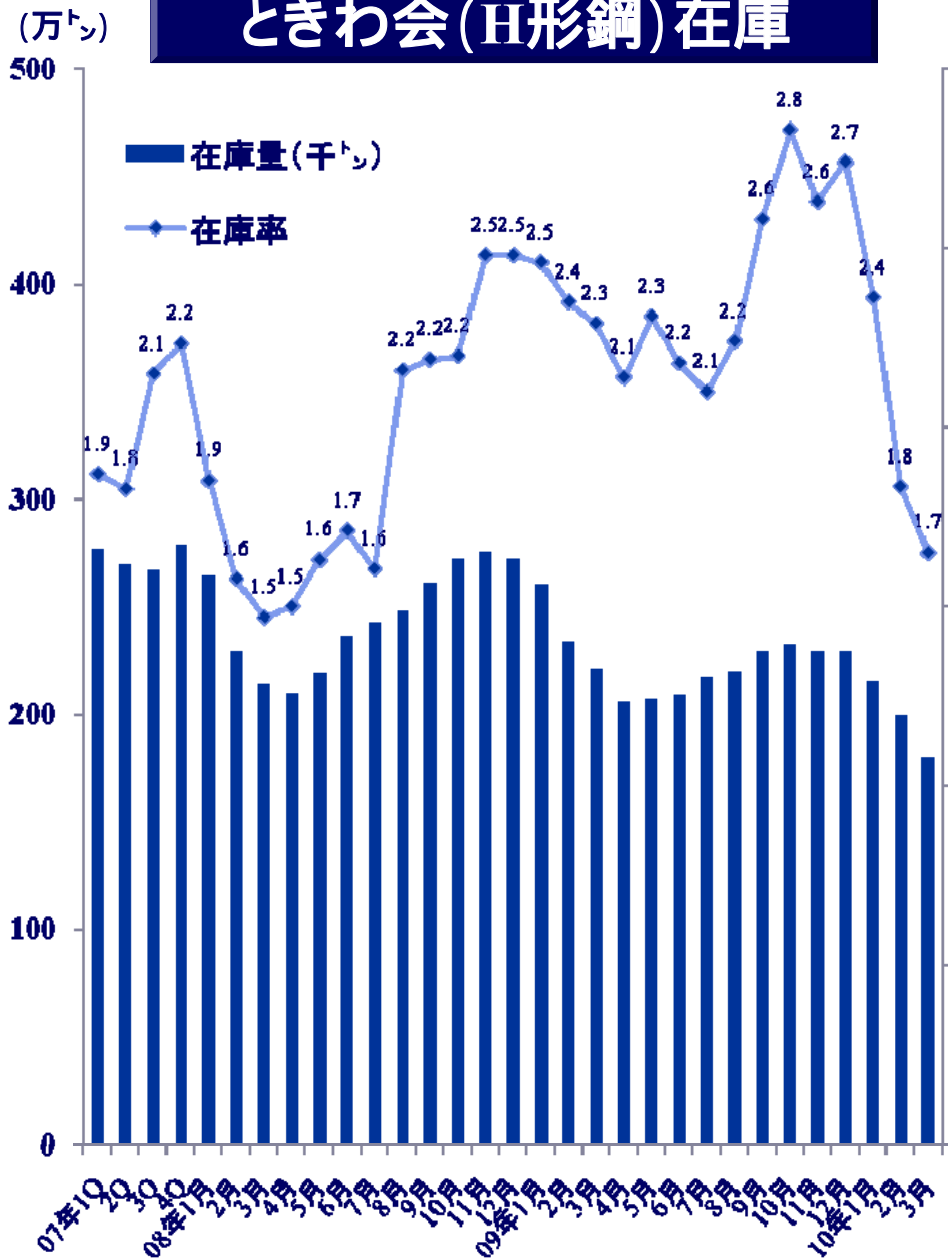


## 熱延薄板・冷延薄板

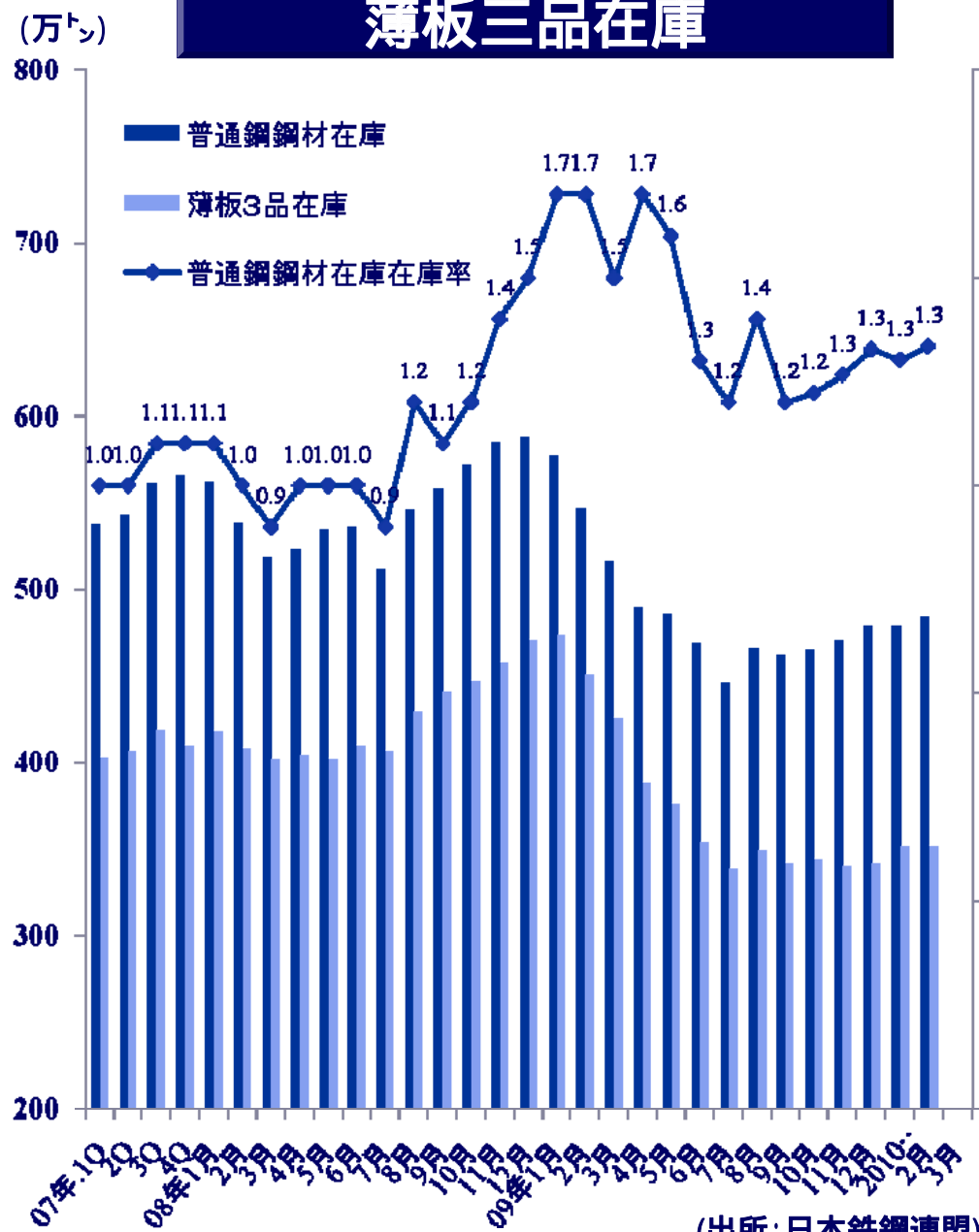


# 国内鋼材在庫推移

## ときわ会(H形鋼)在庫

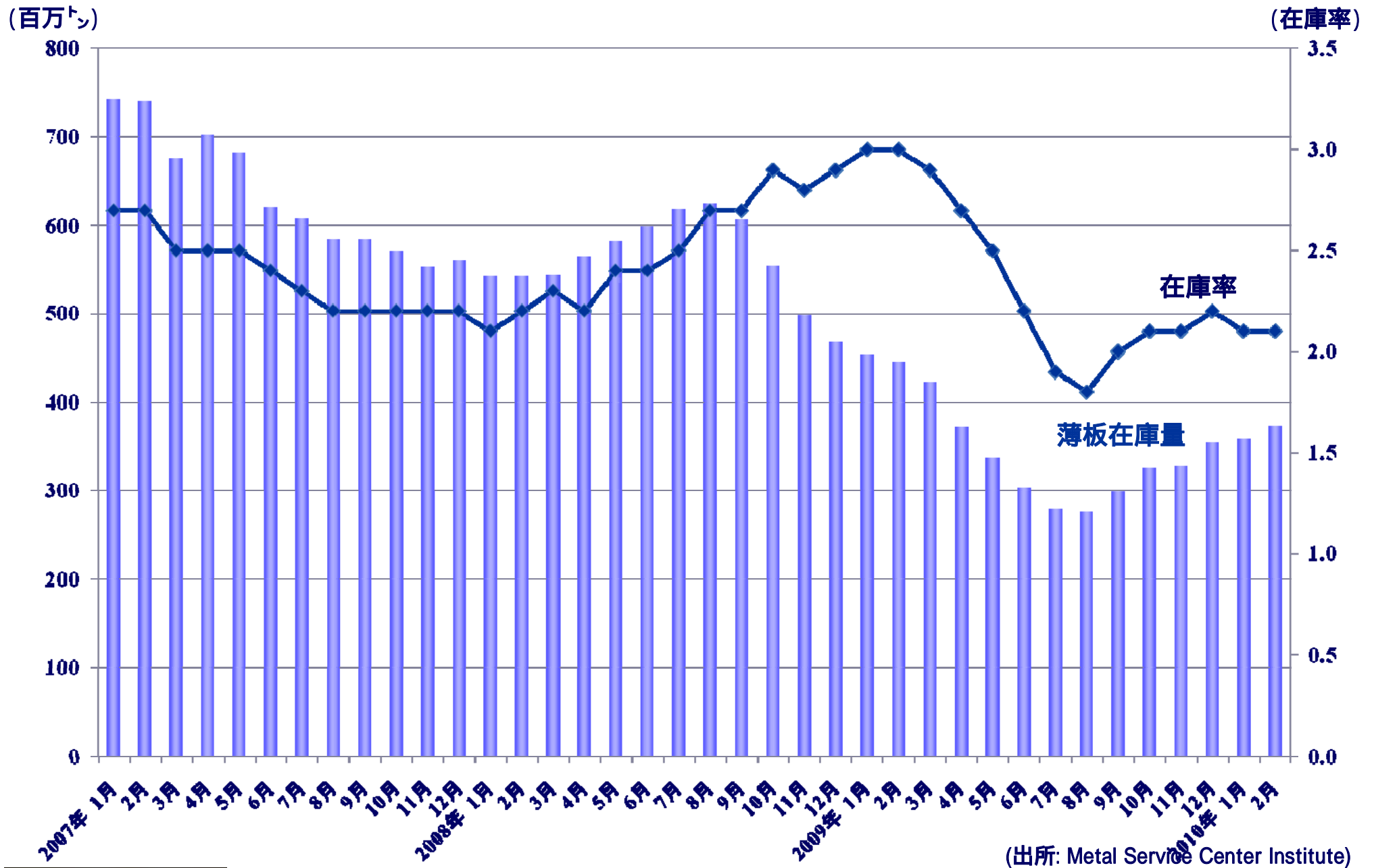


## 薄板三品在庫



(出所:日本鉄鋼連盟)

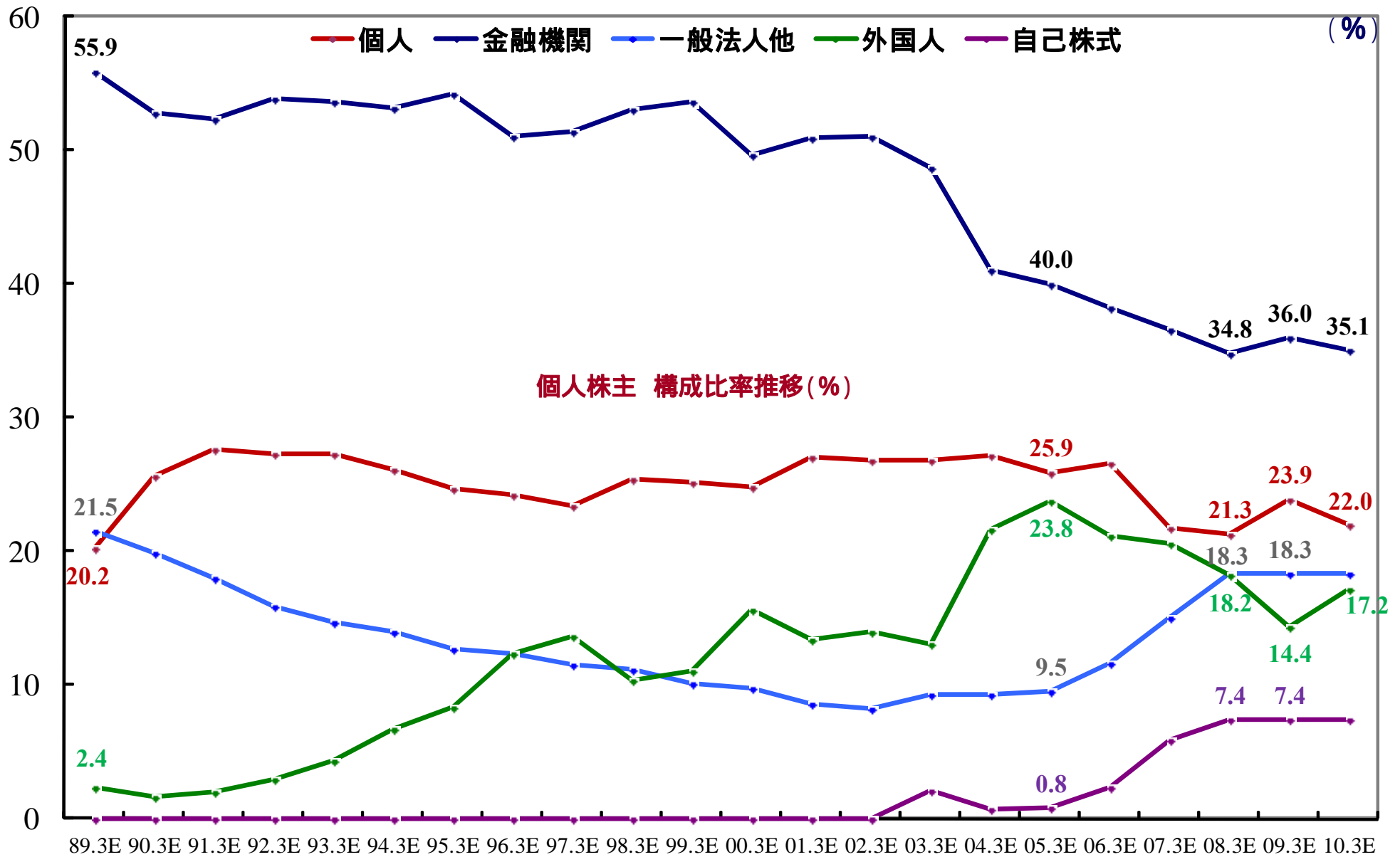
# 米国鋼材在庫量推移



---

ご参考

# 当社の株主構成



# 当社と日経平均株価推移 (2006年4月起点指数グラフ)



---

# 先進のその先へ、新日鉄

[www.nsc.co.jp](http://www.nsc.co.jp)

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。